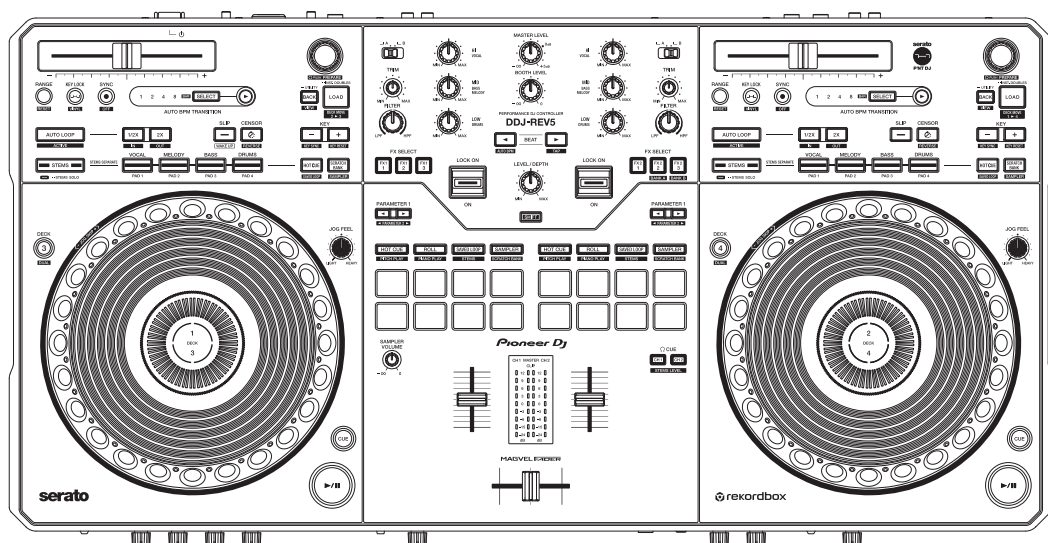




DJコントローラー

DDJ-REV5

pioneerdj.com/support/

serato.com

rekordbox.com

上記のサイトで、本製品の最新のソフトウェア情報やFAQなどのサポート情報をご覧ください。

もくじ

はじめに	5
本書の見かた	5
付属品を確認する	5
マニュアルを閲覧する	6
各部の名称とはたらき	7
コントロールパネル	7
本体フロント部	24
本体リア部	27
PC/Mac の準備	29
設定ユーティリティを使う	31
接続.....	36
入力端子に接続する	36
出力端子に接続する	37
接続ステップ.....	38
Serato DJ Pro	39
Serato DJ Pro をインストールする	39
Serato DJ Pro の基本操作	42
再生	46
ループ	49
パフォーマンスパッド	51
DECK PAD	66
DUAL DECK モード	70
AUTO BPM TRANSITION	71
SLIP	72
フェーダースタート	73
エフェクト	75

rekordbox	76
rekordbox をインストールする	77
rekordbox の基本操作	80
ループ	85
パフォーマンスパッド	87
DECK PAD	99
DUAL DECK モード	100
AUTO BPM TRANSITION	101
SLIP	103
フェーダースタート	106
BEAT FX	108
録音	109
rekordbox で設定を変更する	110
音声出力	114
音声を出力する	114
チャンネル音声の音質を調整する	115
クロスフェーダーカーブを設定する	115
音声モニター	116
ヘッドホンで音声をモニターする	116
ブースモニターを使う	116
マイク	117
マイクを使う	117
AUX	118
AUX を使う	118
本機の設定	119
本機の設定を変更する	119
UTILITY 設定項目	120
その他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する	131
スペック	132

仕様	132
その他	134
故障かな？と思ったら	134
商標および登録商標について	139
ソフトウェアのライセンス	140
著作権	142

はじめに

本書の見かた

- このたびは、Pioneer DJ 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書と、本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書では、製品本体、PC/Mac 画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[]で囲んで記載しています。(例:[ファイル]、[CUE]ボタン)
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合があります。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合があります。

付属品を確認する

- AC アダプター × 1
- 電源コード × 1
- USB ケーブル^{*1} × 1
- 保証書（一部の地域）^{*2} × 1
- クイックスタートガイド × 1
- 使用上のご注意 × 1
- Serato DJ Pro Pitch 'n Time DJ バウチャー^{*3} × 1

^{*1} 本機にはUSB ケーブルは1本しか付属されていません。2台接続時には、USB 2.0に準拠したケーブルをお使いください。

^{*2} 欧州向け製品のみ。(日本向け、北米地域は「使用上のご注意」に記載されています。)

^{*3} 機能をアクティベートするには、バウチャーコードが必要です。再発行できませんので、紛失しないように十分ご注意ください。

マニュアルを閲覧する

❖ Serato DJ Pro ソフトウェアマニュアル

下記の Serato DJ サイトをご確認ください。

serato.com/dj/pro/downloads

❖ rekordbox イン트로ダクション、操作説明書

「rekordbox イン트로ダクション」は、rekordbox のセットアップ方法を記載しています。

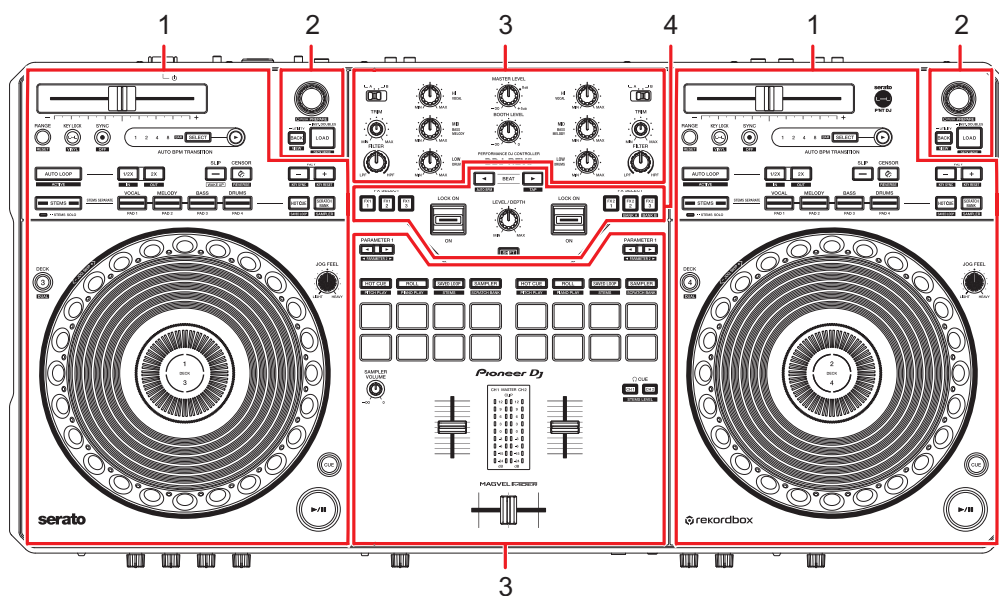
「操作説明書」は、rekordbox の操作方法を記載しています。

下記の rekordbox サイトをご確認ください。

rekordbox.com/manual

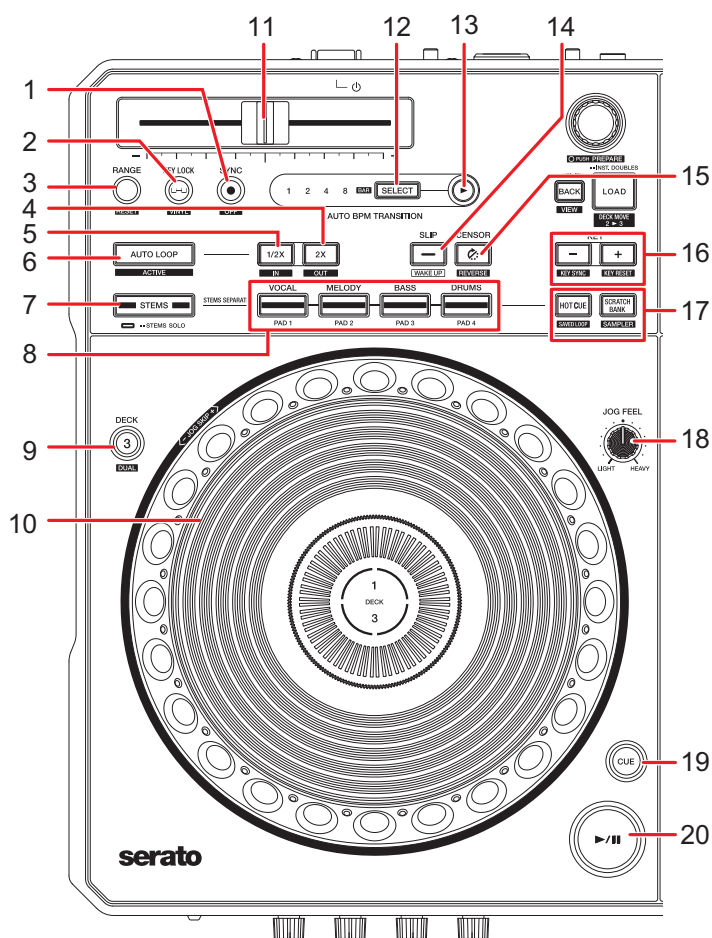
各部の名称とはたらき

コントロールパネル



1. デッキセクション
2. ブラウズセクション
3. ミキサーセクション
4. FXセクション

デッキセクション



❖ Serato DJ Pro を使用するとき

1. SYNC ボタン

ボタンを押したデッキで再生中のトラックのテンポ (BPM) とビートグリッドを、もう一方のデッキにロードされているトラックに合わせます (48 ページ)。

- [SHIFT] ボタンを押しながら押すと、ビートシンクがオフになります。

2. KEY LOCK ボタン

キーロックをオン/オフを切り替えます (47 ページ)。

- [SHIFT] ボタンを押しながら押すと、VINYL モードのオン/オフを切り替えます。

3. RANGE ボタン

TEMPO スライダーの可変範囲を切り替えます (46 ページ)。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、TEMPO スライダーの位置に関わらず、トラックのオリジナルの再生速度に戻ります。

4. **2X** ボタン

ループを2倍の長さにします (49 ページ)。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、ループアウトポイントを設定します (49 ページ)。
- ループ再生中に**[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、ループアウトポイントを調整できます (50 ページ)。
- ループロール再生中に押すと、再生中のループロールの拍数を変更できます (53 ページ)。

5. **1/2X** ボタン

ループを半分の長さにします (49 ページ)。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、ループインポイントを設定します (49 ページ)。
- ループ再生中に**[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、ループインポイントを調整できます (50 ページ)。
- ループロール再生中に押すと、再生中のループロールの拍数を変更できます (53 ページ)。

6. **AUTO LOOP** ボタン

お好みの拍のループ再生またはオートビートループを実行します (49 ページ)。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、ループアクティブのオン/オフを切り替えます。
- 設定ユーティリティの**[ループの操作オプション]**で、**[AUTO LOOP]** ボタンを押したときの動作を、お好みの拍のループとオートビートループのいずれかに設定できます (34 ページ)。

7. **STEMS** ボタン

STEMS モードに切り替わります。

- 1回押すと、MUTE 設定をオンにします。
- 2回押すと、SOLO 設定をオンにします。

8. **パッド** ボタン

STEMS モードのときは、**[VOCAL]**、**[MELODY]**、**[BASS]**、**[DRUMS]** ボタンとして機能します。

DECK PAD モードのときは、**[PAD 1]**、**[PAD 2]**、**[PAD 3]**、**[PAD 4]** ボタンとして機能します。

- **[VOCAL/PAD 1]** : STEMS モードの MUTE 設定時に押すと、VOCAL STEM のミュートのオン/オフを切り替えます。SOLO 設定時に押すと、VOCAL STEM のみを出力します。もう一度押すと、全 STEM 出力に戻ります。

[STEMS] ボタンを押しながら押すと、操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。トラックの再生中に実行すると、同じ位置から再生を開始します。操作側のデッキはVOCAL STEMのみを出力し、操作していない方のデッキのVOCAL STEMはミュートされます。

- [MELODY/PAD 2]: STEMSモードのMUTE設定時に押すと、MELODY STEMのミュートのオン/オフを切り替えます。SOLO設定時に押すと、MELODY STEMのみを出力します。もう一度押すと、全STEM出力に戻ります。

[STEMS] ボタンを押しながら押すと、操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。トラックの再生中に実行すると、同じ位置から再生を開始します。操作側のデッキはMELODY STEMのみを出力し、操作していない方のデッキのMELODY STEMはミュートされます。

- [BASS/PAD 3]: STEMSモードのMUTE設定時に押すと、BASS STEMのミュートのオン/オフを切り替えます。SOLO設定時に押すと、BASS STEMのみを出力します。もう一度押すと、全STEM出力に戻ります。

[STEMS] ボタンを押しながら押すと、操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。トラックの再生中に実行すると、同じ位置から再生を開始します。操作側のデッキはBASS STEMのみを出力し、操作していない方のデッキのBASS STEMはミュートされます。

- [DRUMS/PAD 4]: STEMSモードのMUTE設定時に押すと、DRUMS STEMのミュートのオン/オフを切り替えます。SOLO設定時に押すと、DRUMS STEMのみを出力します。もう一度押すと、全STEM出力に戻ります。

[STEMS] ボタンを押しながら押すと、操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。トラックの再生中に実行すると、同じ位置から再生を開始します。操作側のデッキはDRUMS STEMのみを出力し、操作していない方のデッキのDRUMS STEMはミュートされます。

9. DECK ボタン

操作するデッキを切り替えます。

- [SHIFT] ボタンを押しながら押すと、DUAL DECKモードのオン/オフを切り替えます。

10. ジョグ

VINYLモードがオンのときに天面を回すと、スクラッチできます。

- 外周部分を回す、またはVINYLモードがオフのときに天面を回すとピッチベンド（再生速度の調整）ができます。
- [SHIFT] ボタンを押しながら天面を回すと、回転方向に高速でトラックを送ります。
- ジョグの天面に物をのせたり、強い力を加えないでください。

11. TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

- [＋]側に動かす：再生速度が速くなります。
- [－]側に動かす：再生速度が遅くなります。

12. SELECT ボタン (71 ページ)

[SHIFT] を押しながら押すと、AUTO BPM TRANSITION にかかる時間（小節数）を調整します。

- [SELECT] ボタンを押しながらパッドボタン ([VOCAL/PAD 1]、[MELODY/PAD 2]、[BASS/PAD 3]、[DRUMS/PAD 4]) を押すと、AUTO BPM TRANSITION 開始時、各 STEM のミュートが設定されます。

13. ► (AUTO BPM TRANSITION START) ボタン

AUTO BPM TRANSITION を開始します (71 ページ)。

14. SLIP ボタン

SLIP モードのオン/オフを切り替えます (72 ページ)。

15. CENSOR ボタン

ボタンを押している間スリップリバーします (46 ページ)。

- [SHIFT] ボタンを押しながら押すと、逆再生します。ボタンを離しても逆再生を続けます。もう一度 [SHIFT] ボタンを押しながら押すと、通常の再生に戻ります。
- トラックをまたいだ逆再生はできません。
- 逆再生中にループ再生などの操作を行うと、スクラッチできないことがあります。

16. KEY -、KEY + ボタン

キーを調整します (48 ページ)。

- [SHIFT] ボタンを押しながら [KEY -] ボタンを押すと、ほかのデッキのキーに合わせます (キーシンク)。
- [SHIFT] ボタンを押しながら [KEY +] ボタンを押すと、操作デッキで再生中のトラックのキーがオリジナルのキーに戻ります (キーリセット)。

17. DECK PAD モードボタン

各パッドモードに切り替わります (66 ページ)。

18. JOG FEEL ノブ

ジョグの回転負荷を調整します。

- 右に回すほど負荷が重くなり、左に回すほど負荷が軽くなります。

19. CUE ボタン

キューポイントを設定、再生、呼び出します。

- 一時停止中に押すと、キューポイントを設定します。
- 再生中に押すと、キューポイントに戻り、一時停止します (バックキュー)。

- キューポイントに戻ったあとに押し続けると、押している間再生を続けます（キューポイントサンプラー）。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、再生位置がトラックの先頭に戻ります。

20. ▶/|| ボタン

トラックを再生/一時停止します。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、テンポラリーキューポイントに戻って再生を続けます（スタッター）。

❖ rekordbox を使用するとき

1. SYNC ボタン

ボタンを押したデッキで再生中のトラックのテンポ(BPM)とビートグリッドを、マスターデッキに合わせます（100 ページ）。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、マスターデッキを設定します。
- ビートシンク中に押すと、ビートシンクがオフになります。

2. KEY LOCK ボタン

再生中のトラックのキーがオリジナルキーに戻ります。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、VINYL モードのオン/オフを切り替えます。

3. RANGE ボタン

TEMPO スライダーの可変範囲を切り替えます。

4. 2X ボタン

ループを2倍の長さにします（85 ページ）。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、ループアウトポイントを設定します（85 ページ）。
- ループ再生中に**[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、ループアウトポイントを調整できます（86 ページ）。

5. 1/2X ボタン

ループを半分の長さにします（85 ページ）。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、ループインポイントを設定します（85 ページ）。
- ループ再生中に**[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、ループインポイントを調整できます（86 ページ）。

6. AUTO LOOP ボタン

ループ再生を実行します（85 ページ）。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、ループアクティブのオン/オフを切り替えます。
- rekordbox の **[環境設定]** の **[AUTO BEAT LOOP]** で、**[AUTO LOOP]** ボタンを押したときの動作を設定できます（110 ページ）。

7. STEMS ボタン

ACTIVE PART モードに切り替わります。

- 1回押すと、MUTE 設定をオンにします。
- 2回押すと、SOLO 設定をオンにします。

8. パッドボタン (99 ページ)

ACTIVE PART モードのときは、VOCAL、INST、DRUMS として機能します。

DECK PAD モードのときは、PAD 1, PAD 2, PAD 3, PAD 4 として機能します。

— **[VOCAL/PAD 1]** : ACTIVE PART モードの MUTE 設定時に押すと、VOCAL パートのミュートのオン/オフを切り替えます。SOLO 設定時に押すと、VOCAL パートのみを出力します。もう一度押すと、全パート出力に戻ります。

[STEMS] ボタンを押しながら押すと、操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。トラックの再生中に実行すると、同じ位置から再生を開始します。操作側のデッキは VOCAL パートのみを出力し、操作していない方のデッキの VOCAL パートはミュートされます。

— **[MELODY/PAD 2]、[BASS/PAD 3]** : ACTIVE PART モードの MUTE 設定時に押すと、INST パートのミュートのオン/オフを切り替えます。SOLO 設定時に押すと、INST パートのみを出力します。もう一度押すと、全パート出力に戻ります。

[STEMS] ボタンを押しながら押すと、操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。トラックの再生中に実行すると、同じ位置から再生を開始します。操作側のデッキは INST パートのみを出力し、操作していない方のデッキの INST パートはミュートされます。

— **[DRUMS/PAD 4]** : ACTIVE PART モードの MUTE 設定時に押すと、DRUMS パートのミュートのオン/オフを切り替えます。SOLO 設定時に押すと、DRUMS パートのみを出力します。もう一度押すと、全パート出力に戻ります。

[STEMS] ボタンを押しながら押すと、操作していない方のデッキにロードされているトラックを、操作側のデッキにロードします。トラックの再生中に実行すると、同じ位置から再生を開始します。操作側のデッキは DRUMS パートのみを出力し、操作していない方のデッキの DRUMS パートはミュートされます。

9. DECK ボタン

操作するデッキを切り替えます。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、DUAL DECK モードのオン/オフを切り替えます。

10. ジョグ

VINYL モードがオンのときに天面を回すと、スクラッチできます。

- 外周部分を回す、または VINYL モードがオフのときに天面を回すとピッチベンド（再生速度の調整）ができます。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら天面を回すと、回転方向に高速でトラックを送ります。

- ジョグの天面に物をのせたり、強い力を加えないでください。

11. TEMPO スライダー

トラックの再生速度を調整します。

- [＋]側に動かす：再生速度が速くなります。
- [－]側に動かす：再生速度が遅くなります。

12. SELECT ボタン (101 ページ)

[SHIFT]を押しながら押すと、AUTO BPM TRANSITIONにかかる時間（小節数）を調整します。

- [SELECT] ボタンを押しながらパッドボタン ([VOCAL/PAD 1]、[MELODY/PAD 2]、[BASS/PAD 3]、[DRUMS/PAD 4]) を押すと、AUTO BPM TRANSITION 開始時にミュートするパート（押したパッドボタンのパート）を設定します。

13. ► (AUTO BPM TRANSITION START) ボタン

AUTO BPM TRANSITION を開始します (101 ページ)。

14. SLIP ボタン

SLIP モードのオン/オフを切り替えます (103 ページ)。

15. CENSOR ボタン

ボタンを押している間逆再生し、ボタンを離すと通常の再生に戻ります。逆再生中もバックグラウンドで通常の再生を続け、ボタンを離すとバックグラウンドで進んだ位置から再生します。

- [SHIFT] ボタンを押しながら押すと、逆再生します。ボタンを離しても逆再生を続けます。もう一度[SHIFT] ボタンを押しながら押すと、通常の再生に戻ります。

16. KEY -、KEY + ボタン

キーを調整します。

- [KEY -] ボタンを押すと、デッキで再生中のトラックのキーを半音下げます。
- [KEY +] ボタンを押すと、デッキで再生中のトラックのキーを半音上げます。
- [SHIFT] ボタンを押しながら[KEY -] ボタンを押すと、ほかのデッキのキーに合わせます（キーシンク）。
- [SHIFT] ボタンを押しながら[KEY +] ボタンを押すと、操作デッキで再生中のトラックのキーがオリジナルのキーに戻ります（キーリセット）。

17. DECK PAD モードボタン

各パッドモードに切り替わります (99 ページ)。

18. JOG FEEL ノブ

ジョグの回転負荷を調整します。

- 右に回すほど負荷が重くなり、左に回すほど負荷が軽くなります。

19. CUE ボタン

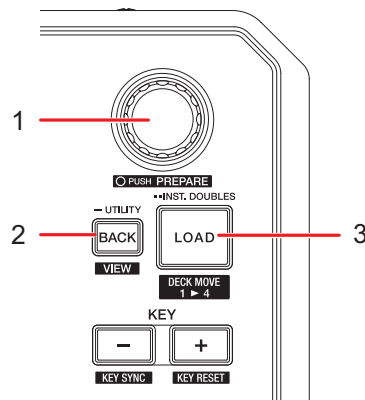
キューポイントを設定、再生、呼び出します。

- 一時停止中に押すと、キューポイントを設定します。
- 再生中に押すと、キューポイントに戻り、一時停止します（バックキュー）。
- キューポイントに戻ったあとに押し続けると、押している間再生を続けます（キューポイントサンプラー）。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、再生位置がトラックの先頭に戻ります。

20. ▶/■ ボタン

トラックを再生/一時停止します。

ブラウザセクション



❖ Serato DJ Pro を使用するとき

1. ローターセクター

Serato DJ Pro画面で、トラックリストやcratesリストのカーソルを上下に移動します。

- カーソルがcratesリストまたはトラックリストにあるときに押すと、cratesリストとトラックリスト間でカーソルを移動します。
- カーソルが[Files]パネルにあるときに押すと、カーソルが下位階層へ移動します。
- カーソルが[Browse]パネルにあるときに押すと、カーソルが次のカテゴリへ移動します。
- [SHIFT] ボタンを押しながら押すと、Serato DJ Proの[Prepare]パネルにトラックをロードします。

2. BACK ボタン

Serato DJ Pro画面で、cratesリストとトラックリスト間でカーソルを移動します。

- cratesリストで選択している項目にsubcrateがあるときは、押すたびにcrateを開閉します。
- カーソルが[Files]パネルにあるときに押すと、カーソルが上位階層へ移動します。
- カーソルが[Browse]パネルにあるときに押すと、カーソルが前のカテゴリへ移動します。
- [SHIFT] ボタンを押しながら押すと、Serato DJ Proのレイアウトを切り替えます。

3. LOAD ボタン

選択中のトラックを、デッキにロードします。

- 2回押すと、もう一方のデッキにロードされているトラックを、ボタンを押したデッキにロードします（再生位置も同じになります）。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら左デッキの**[LOAD]** ボタンを押すと、DECK 2のトラックがDECK 3へ移動します。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら右デッキの**[LOAD]** ボタンを押すと、DECK 1のトラックがDECK 4へ移動します。

❖ rekordbox を使用するとき

1. ロータリーセクター

rekordbox画面で、カーソルを上下に移動します。

- 押すと、rekordbox画面のツリービューとトラックリスト間でカーソルを移動します。
- プレイリストパレットが表示されているときは、ツリービュー、トラックリスト、プレイリストの順でカーソルを移動します。ツリービュー、トラックリスト、プレイリストパレットについては、rekordboxの「操作説明書」を参照してください(6 ページ)。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら回すと、rekordboxの拡大波形表示を拡大または縮小します。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、rekordboxのタグリストにトラックを追加します。

2. BACK ボタン

rekordbox画面で、ツリービューとトラックリスト間でカーソルを移動します。

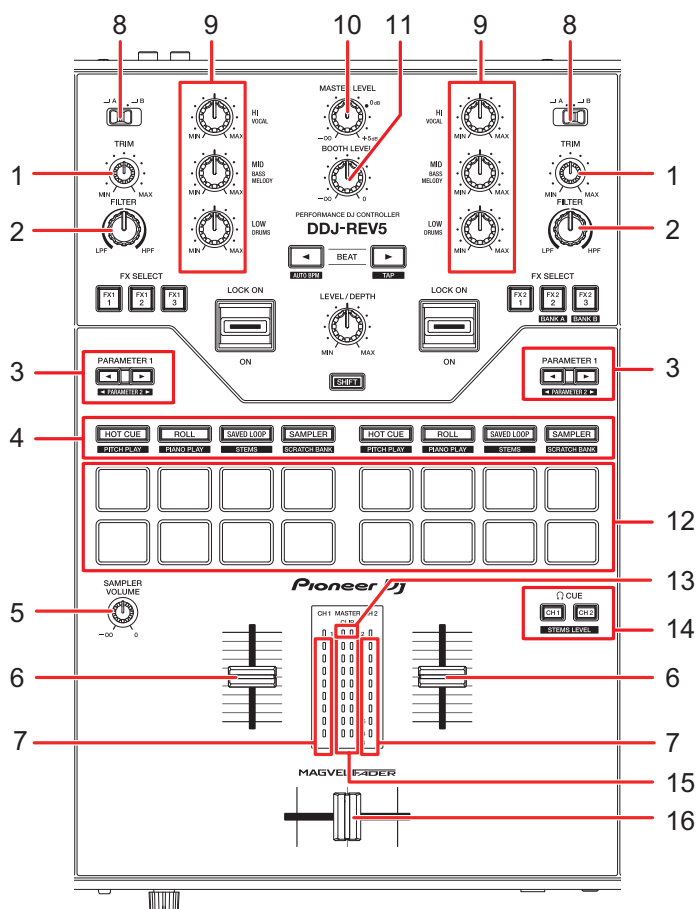
- プレイリストパレットが表示されているときは、ツリービュー、トラックリスト、プレイリストの順でカーソルを移動します。ツリービュー、トラックリスト、プレイリストパレットについては、rekordboxの「操作説明書」を参照してください(6 ページ)。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、rekordboxのレイアウトを切り替えます。

3. LOAD ボタン

選択中のトラックを、デッキにロードします。

- 2回押すと、もう一方のデッキにロードされているトラックを、ボタンを押したデッキにロードします（再生位置も同じになります）。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら左デッキの**[LOAD]** ボタンを押すと、DECK 2またはDECK 4のトラックがDECK 3へ移動します。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら右デッキの**[LOAD]** ボタンを押すと、DECK 1またはDECK 3のトラックがDECK 4へ移動します。

ミキサーセクション



❖ Serato DJ Pro を使用するとき

1. **TRIM ノブ**
チャンネルの入力音声の音量を調整します。
2. **FILTER ノブ**
FILTERを調整します。
3. **PARAMETER 1 ◀▶ ボタン**
パラメーターを設定します。
4. **パッドモードボタン**
各パッドモードに切り替わります (51 ページ)。

5. SAMPLER VOLUME ノブ

サンプラー音声の音量を調節します。

6. チャンネルフェーダー

各チャンネルから出力する音声レベルを調整します。奥側へスライドすると音量が上がり、手前へスライドすると音量が下がります。

7. チャンネルレベルインジケーター

チャンネルフェーダー通過前の音量を表示します。

8. 入力切替えスイッチ

入力音声を選択します。

—  **[A]** : **[USB A]** 端子に接続している PC/Mac

—  **[B]** : **[USB B]** 端子に接続している PC/Mac

9. HI, MID, LOW ノブ

EQ モード時は、各音域の音質を調整します。

STEMS LEVEL モード時は、各 STEM の音量を調整します。

— **[HI]** : VOCAL STEM の音量を調整します。

— **[MID]** : MELODY STEM と BASS STEM の音量を調整します。

— **[LOW]** : DRUMS STEM の音量を調整します。

10. MASTER LEVEL ノブ

[MASTER 1]、**[MASTER 2]** 出力端子に出力するマスター音声の音量を調整します。

11. BOOTH LEVEL ノブ

ブースモニター音声の音量を調整します。

12. パフォーマンスパッド (51 ページ)

13. CLIP インジケーター

[MASTER 1]、**[MASTER 2]** 出力端子から過大音量が出力されたときに点滅します。

14. CUE ボタン

EQ モード時は、ヘッドフォンの音声出力を設定します。

— **[CH 1]** : CH 1/CH 3 または両方の音声を出力します。

— **[CH 2]** : CH 2/CH 4 または両方の音声を出力します。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押すと、EQ モードと STEMS LEVEL モードを切り替えます。

15. マスターレベルインジケーター

[MASTER 1]、**[MASTER 2]** 出力端子に出力するマスター音声の音量を表示します。

16. クロスフェーダー

本体フロント部のCROSSFADERセクションの[**CURVE**]ノブで指定されているカーブ特性（25 ページ）にしたがって、音声を出力します。DECK 1（左）側へスライドするとDECK 1の音声を、DECK 2（右）側へスライドするとDECK 2の音声を出力します。

❖ rekordbox を使用するとき

1. TRIM ノブ

チャンネルの入力音声の音量を調整します。

2. FILTER ノブ

FILTERやその他のエフェクトを調整します。

3. PARAMETER 1 ◀▶ ボタン

パラメーターを設定します。

4. パッドモードボタン

各パッドモードに切り替わります（87 ページ）。

5. SAMPLER VOLUME ノブ

サンプラー音声の音量を調節します。

6. チャンネルフェーダー

各チャンネルから出力する音声レベルを調整します。奥側へスライドすると音量が上がり、手前へスライドすると音量が下がります。

7. チャンネルレベルインジケーター

チャンネルフェーダー通過前の音量を表示します。

8. 入力切替えスイッチ

入力音声を選択します。

— [ **A**] : [**USB A**] 端子に接続している PC/Mac

— [ **B**] : [**USB B**] 端子に接続している PC/Mac

9. HI, MID, LOW ノブ

EQ モード時は、各音域の音質を調整します。

PART ISO モード時は、各パートの音量を調整します。

— [**HI**] : VOCAL パートの音量を調整します。

— [**MID**] : INST パートの音量を調整します。

— [**LOW**] : DRUMS パートの音量を調整します。

10. MASTER LEVEL ノブ

[**MASTER 1**]、[**MASTER 2**] 出力端子に出力するマスター音声の音量を調整します。

11. BOOTH LEVEL ノブ

ブースモニター音声の音量を調整します。

12. パフォーマンスパッド (87 ページ)

13. CLIP インジケーター

[MASTER 1]、[MASTER 2]出力端子から過大音量が出力されたときに点滅します。

14. CUE ボタン

EQ モード時は、ヘッドフォンの音声出力を設定します。

— [CH 1] : CH 1/CH 3 または両方の音声を出力します。

— [CH 2] : CH 2/CH 4 または両方の音声を出力します。

• [SHIFT] ボタンを押しながら押すと、EQ モードと PART ISO モードを切り替えます。

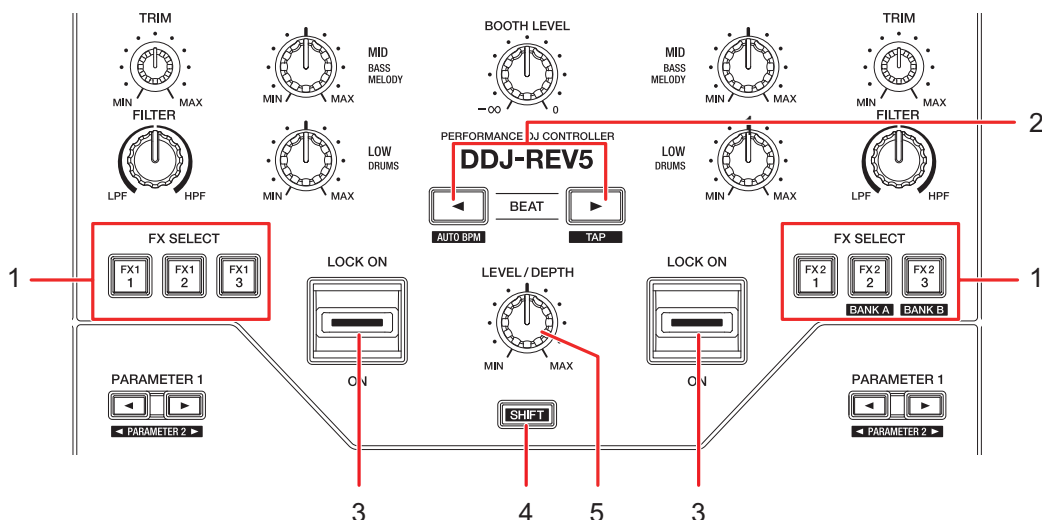
15. マスターレベルインジケーター

[MASTER 1]、[MASTER 2]出力端子に出力するマスター音声の音量を表示します。

16. クロスフェーダー

本体フロント部のCROSSFADERセクションの[CURVE]ノブで指定されているカーブ特性 (25 ページ) にしたがって、音声を出力します。DECK 1 (左) 側へスライドすると DECK 1 の音声を、DECK 2 (右) 側へスライドすると DECK 2 の音声を出力します。

FXセクション



❖ Serato DJ Proを使用するとき

1. FX SELECT ボタン

エフェクトを選択します。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[FX2-2]** ボタンを押すと **BANK A** を、**[SHIFT]** ボタンを押しながら **[FX2-3]** ボタンを押すと **BANK B** を選択します。
- **[FX SELECT]** ボタンを押しながらロータリーセクターを回すと、エフェクトの種類を選択できます。
- 複数の **[FX SELECT]** ボタンを同時に押すと、複数のエフェクトを選択できます。

2. BEAT ◀▶ ボタン

エフェクトの拍数を設定します。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[◀]** ボタンを押すと、自動で BPM を取得します (AUTO BPM)。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[▶]** ボタンを押すと、BPM タップモード (エフェクトの基準となる BPM を、ボタンをタップした間隔から算出) にします。

3. エフェクトレバー

エフェクトを加えます。

- **[LOCK ON]** : **[LOCK ON]** の位置に合わせている間、エフェクトがかかります。エフェクトをオフにするには、レバーを中央の位置に戻してください。

- **[ON]**：エフェクトレバーを **[ON]** の位置に合わせている間、エフェクトがかかります。レバーを離すと中央の位置に戻り、エフェクトがオフになります。

4. **SHIFT** ボタン

5. **LEVEL/DEPTH** ノブ

エフェクトの量的パラメーターを調整します。

❖ rekordbox を使用するとき：

1. **FX SELECT** ボタン

エフェクトを選択します。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[FX2-2]** ボタンを押すと **BANK A** を、**[SHIFT]** ボタンを押しながら **[FX2-3]** ボタンを押すと **BANK B** を選択します。
- 複数の **[FX SELECT]** ボタンを同時に押すと、複数のエフェクトを選択できます。

2. **BEAT** ◀▶ ボタン

エフェクトの拍数を設定します。

[◀] ボタンを押すたびに、**BEAT FX** のエフェクト音を同期させる拍数が小さくなります。

[▶] ボタンを押すたびに、**BEAT FX** のエフェクト音を同期させる拍数が大きくなります。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[◀]** ボタンを押すと、**BEAT FX** のテンポモードを **BPM オートモード** にします。トラックの **BPM** 値が **BEAT FX** のテンポの基準となります。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[▶]** ボタンを押すと、**BPM タップモード**（エフェクトの基準となる **BPM** 値を、ボタンをタップした間隔から算出）にします。

3. **エフェクトレバー**

エフェクトを加えます。

- **[LOCK ON]**： **[LOCK ON]** の位置に合わせている間、エフェクトがかかります。エフェクトをオフにするには、レバーを中央の位置に戻してください。

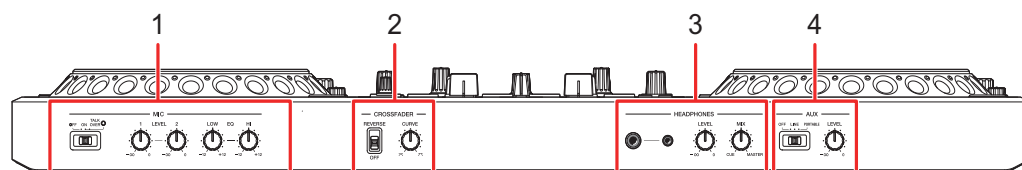
- **[ON]**：エフェクトレバーを **[ON]** の位置に合わせている間、エフェクトがかかります。レバーを離すと中央の位置に戻り、エフェクトがオフになります。

4. **SHIFT** ボタン

5. **LEVEL/DEPTH** ノブ

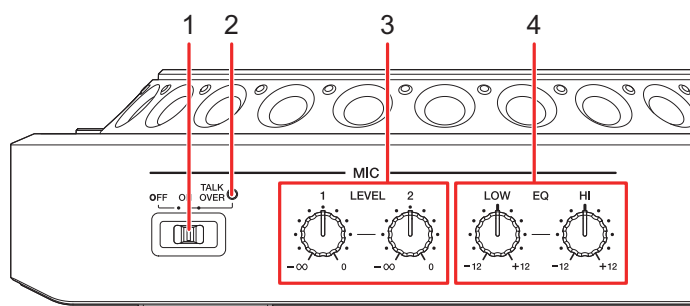
エフェクトの量的パラメーターを調整します。

本体フロント部



1. MIC セクション
2. CROSSFADER セクション
3. HEADPHONES セクション
4. AUX セクション

MIC セクション



1. OFF, ON, TALKOVER 切替えスイッチ

マイク音声の出力を設定します。

- [OFF] : マイクをオフにします。
- [ON] : マイクをオンにします。
- [TALKOVER] : マイクのTALKOVERモードにします。マイクに-10 dB以上の音声が入力されると、マイクチャンネル以外の音量が-18 dB 減衰します。

- TALKOVERモードの音声減衰レベルは、ユーティリティーモードの[MIC TALKOVER LEVEL]で変更できます (122 ページ)。

2. マイクインジケーター

[OFF, ON, TALKOVER]切替えスイッチの設定を以下のように示します。

- 消灯 : [OFF]に設定されています。

- 点灯：[ON]に設定されています。
- 点滅：[TALKOVER]に設定されています。

3. LEVEL (1, 2) ノブ

[MIC 1]、[MIC 2] 入力端子から入力する音量を調整します。

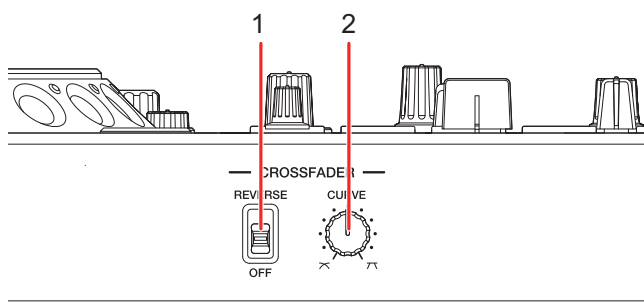
4. EQ (HI, LOW) ノブ

[MIC 1]、[MIC 2] 入力端子から入力する音声の音質を調整します。

各ノブで調整できる音域は以下のとおりです。

- [HI]：-12 dB ～ +12 dB (10 kHz)
- [LOW]：-12 dB ～ +12 dB (100 kHz)

CROSSFADER セクション



1. REVERSE スイッチ

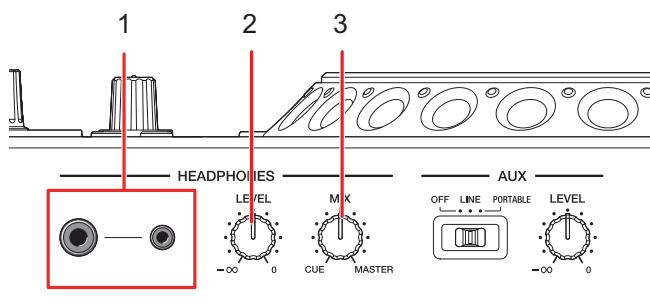
クロスフェーダーリバーブ機能のオン/オフを切り替えます。

2. CURVE ノブ

クロスフェーダーカーブを設定します。

- ：クロスフェーダーを一方（CH 1側またはCH 2側）からスライドすると、もう一方に割り当てられている音が徐々に立ち上がります。
- ：クロスフェーダーを一方（CH 1側またはCH 2側）からスライドすると、もう一方に割り当てられている音が急峻に立ち上がります。

HEADPHONES セクション



1. PHONES 出力端子（ステレオフィोनプラグØ 6.3 mm、Ø 3.5 mm）

ヘッドホンはどちらか一方の端子（1/4" ステレオジャックまたは 3.5 mm ステレオミニジャック）に接続してください。両方の端子を同時に使用すると、一方の端子を抜き差しする際に、もう一方の音量が急に増減することがあります。

2. LEVEL ノブ

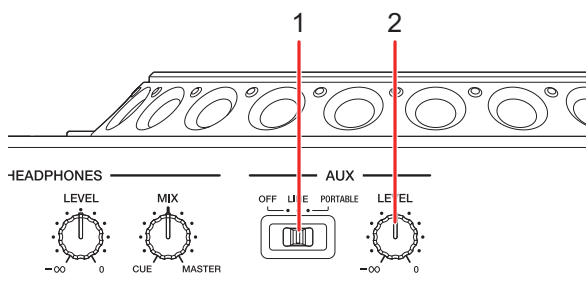
ヘッドホンから出力する音量を調整します。

3. MIX ノブ

[ **CUE**] ボタンで選択しているチャンネルの音声と、マスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

- チャンネルの音声のみをモニターしたいときは [**CUE**] に、マスターチャンネルの音声のみをモニターしたいときは [**MASTER**] に合わせてください。

AUX セクション



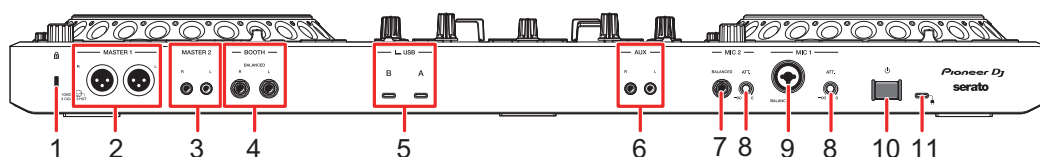
1. AUX (OFF, LINE, PORTABLE) スイッチ

- [OFF] : AUXを使用しません（入力音声をミュートします）。
- [LINE] : ポータブル機器以外を使用します。
- [PORTABLE] : ポータブル機器を使用します。

2. LEVEL ノブ

AUX チャンネルの入力音声の音量を調整します。

本体リア部



1. ケンジントロック装着用穴

盗難防止用のワイヤーロックを装着します。

2. MASTER 1 出力端子 (balanced XLR)

パワーアンプなどのアナログ入力端子と接続します。

- 必ずバランス出力として使用してください。XLR-RCA変換ケーブル(変換アダプター)などを使ってアンバランス入力(RCAなど)へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。
- ほかの製品の電源コードを接続しないように注意してください。
- ファンタム電源が供給できる端子を接続しないでください。

3. MASTER 2 出力端子 (RCA)

パワーアンプなどのアナログ入力端子と接続します。

- アンバランス入力 (RCA など) の接続には、[MASTER 2] 出力端子を使用してください。

4. BOOTH 出力端子 (1/4"/6.35 mm、TRS) (116 ページ)

ブースモニター用の出力端子です。

- 必ずバランス出力として使用してください。アンバランス入力へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。

5. USB 端子 (36 ページ)

PC/Mac と接続します。

6. AUX 入力端子 (36 ページ、118 ページ)

ラインレベルの入力機器を接続します。

7. MIC 2 入力端子 (1/4"/6.35 mm、TRS) (36 ページ、117 ページ)

8. ATT. ノブ (117 ページ)

[MIC 1]、[MIC 2] 入力端子の入力音声レベルを調整します。

- お使いのマイクによって入力音声の増幅量 (ゲイン) は異なります。DJ プレイ開始前にお使いのマイクに合わせて音声レベルを調整してください。
DJ プレイ中のマイクの音量調整には、フロント部の [LEVEL (MIC 1, MIC 2)] ノブを使用してください (24 ページ)。

9. MIC 1 入力端子 (XLR または 1/4"/6.35 mm、TRS) (36 ページ、117 ページ)

10. 電源ボタン

本機の電源をオン (■) / オフ (■) します。

注意

製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

11. DC IN 端子

付属の AC アダプターと電源コードで、コンセントと接続します (36 ページ)。

PC/Mac の準備

本機にPC/Macの音声を入力/出力する場合は、お使いのPC/Macにあらかじめ専用オーディオドライバーソフトウェア/設定ユーティリティをインストールしてください。

PC (Windows) をお使いの場合は、専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールすると、設定ユーティリティも同時にインストールされます。

Mac をお使いの場合は、設定ユーティリティのみインストールされます。

- 最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記の Pioneer DJ サイトを参照してください。

pioneerdj.com/support/

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- 1台のPC/Macに、本機を複数台接続した場合の動作は保証しません。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアがインストールされていないPC (Windows) を本機に接続すると、環境によってはPCにエラーが発生することがあります。
- お使いのPC/Mac上のソフトウェアとの組み合わせによっては、動作に不具合が発生することがあります。
- 専用ソフトウェアをインストールせずに本機をPC/Macに接続すると、[KEY -]、[KEY +] ボタンが点滅します。

専用ソフトウェアのインストール

❖ インストールについてのご注意

- インストールする前に、本機の電源をオフにし、本機とPC/Macを接続しているUSBケーブルを取り外してください。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールする前に、PC (Windows)上のすべてのアプリケーションを終了してください。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアをお使いのPC (Windows)にインストールするには、管理者権限が必要です。
- インストールする前に、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- インストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。
- インストールが完了するまでは、本機とPC/Macを接続しないでください。
- すべてのPC/Mac環境において動作保証するものではありません。

専用ソフトウェアを入手する

1 下記のサイトにアクセスする

pioneerdj.com/support/

2 [ソフトウェア更新情報]をクリックする

3 [DJコントローラー]カテゴリー内の[DDJ-REV5]をクリックする

4 [Drivers]をクリックする

5 [ダウンロードリンク]をクリックして、ファイルを保存する

- お使いのPC/Macによって、PC (Windows)またはMacのいずれかの専用ソフトウェアをダウンロードしてください。

専用ソフトウェアをインストールする

1 ダウンロードした専用ソフトウェアを解凍する

2 インストールファイルをダブルクリックする

- PC (Windows)をお使いの場合は“DDJ-REV5_#.###.exe”を、Macをお使いの場合は“DDJ-REV5_M_#.###.dmg”→“DDJ-REV5SettingUtility.pkg”をダブルクリックしてください（#は専用オーディオドライバーソフトウェアのバージョン表示）。

3 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する]にチェックを入れて[OK]をクリックする

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意しないときは、[同意しない]（Macの場合）/[キャンセル]（Windowsの場合）をクリックして、インストールを中止してください。

4 画面の指示にしたがって、インストールする

設定ユーティリティを使う

PC/Macにインストールされている設定ユーティリティを使って、本機とPC/Macの接続の設定や確認ができます。

設定ユーティリティを表示する

❖ Mac をお使いの場合

- 1 Finderで[アプリケーション]フォルダーを開く
- 2 [Pioneer]→[DDJ-REV5]→[DDJ-REV5設定ユーティリティ]をクリックする

❖ Windows 11 をお使いの場合

- 1 スタートメニューから[すべてのアプリ]→[Pioneer]→[DDJ-REV5設定ユーティリティ]をクリックする

❖ Windows 10 をお使いの場合

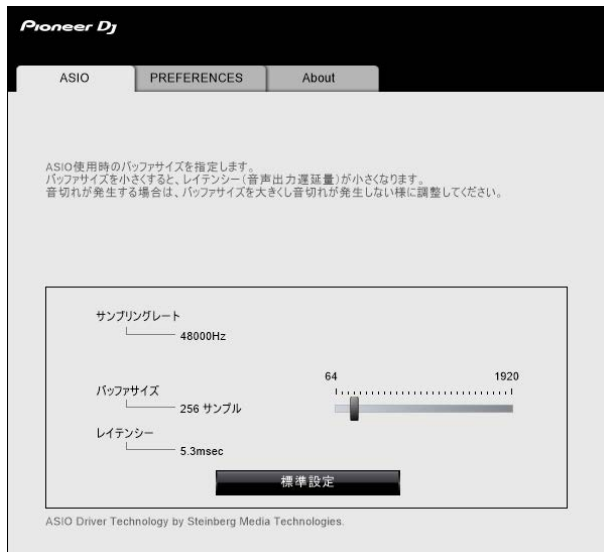
- 1 スタートメニューから [Pioneer] → [DDJ-REV5 設定ユーティリティ]をクリックする

バッファサイズを調整する（Windows ASIO 使用時）

- 本機を既定のオーディオデバイスとして利用しているアプリケーション（DJソフトウェアなど）が起動している場合は、終了してからバッファサイズを調整してください。

1 [ASIO] タブをクリックする

2 スライダーでバッファサイズを調整する



- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落（音とぎれ）などは発生しにくくなりますが、音声データの伝送遅延（レイテンシー）によるタイムラグが増大します。

各種設定を変更する

- 1 [PREFERENCES] タブをクリックする
- 2 各種設定を変更する



設定項目	説明
Slipモードフラッシング	Serato DJ Pro のスリップモードがオンのときに、関連するボタンやノブの LED を点滅させるかどうかを設定します（スリップモードフラッシングの有効 / 無効）。 rekordbox をお使いの場合は、[環境設定] で設定します（110 ページ）。
SlipモードOn時のSlipボタン点灯設定	Serato DJ Pro のスリップモードがオンのときの [SLIP] ボタンの点灯方法を設定します。 — [点灯]：スリップモードがオンのときに点灯し、スリップ動作中に点滅します。 — [点滅]：スリップモードがオンのときに点滅します。 - rekordbox をお使いの場合は、[環境設定] で設定します（110 ページ）。

設定項目	説明
ループの操作オプション	Serato DJ Pro をお使いの場合、チェックを入れると、スライダーで設定するループの長さが有効になります。チェックを外すと、本機の [AUTO LOOP] ボタンがオートビートループボタンとして動作します。 rekordbox をお使いの場合は、[環境設定] で設定します (110 ページ)。
PAD MODE 選択ボタンの操作オプション	チェックを入れると、パッドモードボタンを複数回続けて押すことでパッドモードを切り替えることができます。 本機に PC/Mac を 2 台接続し、CH 1 と CH 2 の入力切替えスイッチが異なる PC/Mac を選択しているときは、それぞれの PC/Mac で設定が選択されているときに有効になります。
フェーダースタートの動作オプション	フェーダースタート機能を有効にするには、プルダウンリストから [CUE] または [HOT CUE] を選択します。フェーダースタート時にシンク機能も有効にするには、チェックボックスにチェックを入れます。 - チェックボックスは、Serato DJ Pro の使用時のみ有効です。 [HOT CUE] を選択しているときは、HOT CUE A のみ動作します。 - rekordbox の [環境設定] → [デッキ] → [HOT CUE] → [一時停止中は GATE 再生] にチェックを入れているときは、[HOT CUE] は正しく動作しません。  「フェーダースタート」 (73 ページ)、[フェーダースタート] (106 ページ)
クロスフェーダー両端の音が出ない範囲の調整	スライダーで、クロスフェーダーの両端の音声を出力しない範囲を設定します。
PC/Mac への音声データ出力設定	録音チャンネル へのマイク音声出力 ([WITH MIC]/[WITHOUT MIC]) を設定します。

ファームウェアと専用ソフトウェアのバージョンを確認する

1 [About] タブをクリックする



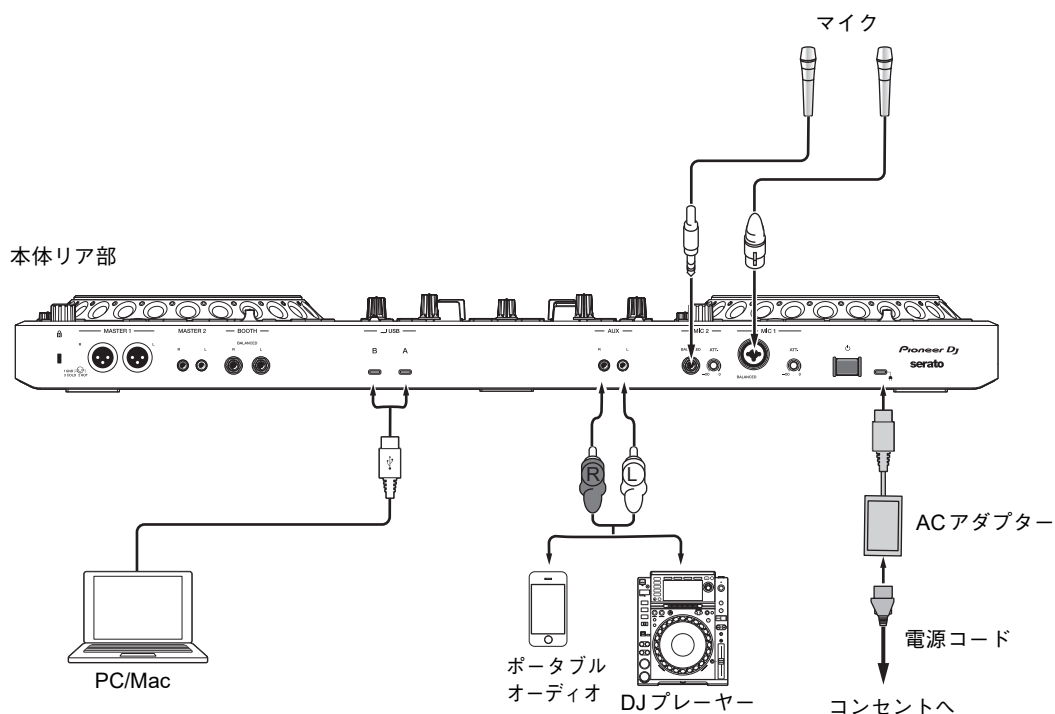
接続

接続を行う前に、必ず本機の電源をオフにし、電源コードを抜いてください。

電源コードは、すべての接続が完了してから接続してください。

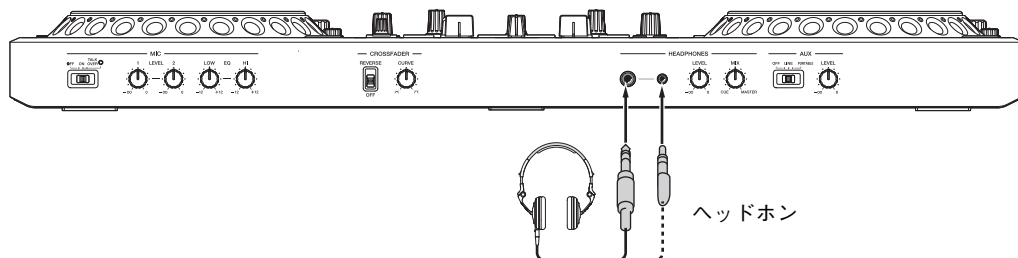
- 付属の電源コードとACアダプターを使用してください。
- 本機とACアダプターを同じ高さに設置するなど、ACアダプターのケーブルとコネクターに負荷がかからないようにしてください。
- 接続する機器の取扱説明書も参照してください。
- PC/Macは、付属のUSBケーブル、またはUSB 2.0に準拠したケーブルで本機に直接接続してください。

入力端子に接続する



出力端子に接続する

❖ 本体フロント部

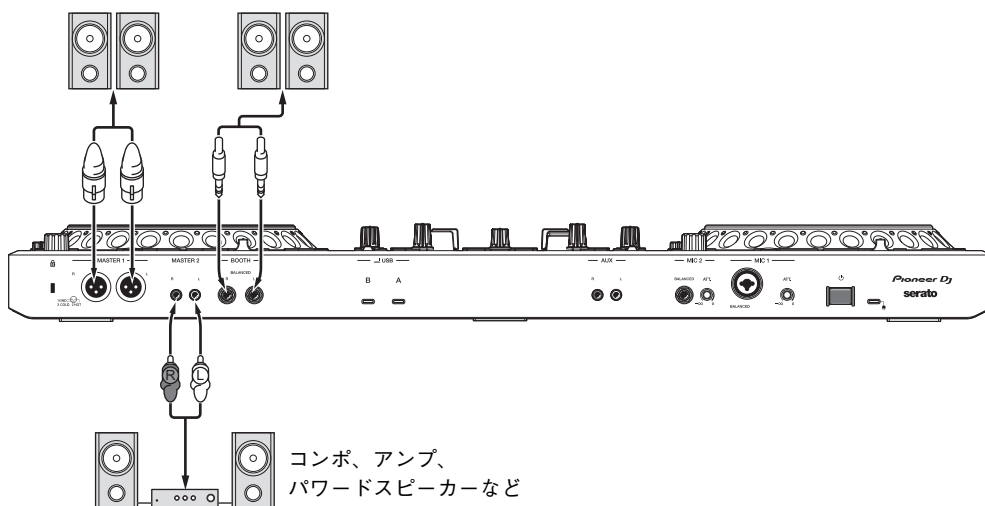


- ヘッドホンはどちらか一方の端子（1/4"ステレオジャックまたは3.5 mm ステレオミニジャック）に接続してください。両方の端子を同時に使用すると、一方の端子を抜き差しする際に、もう一方の音量が急に増減することがあります。

❖ 本体リア部

パワーアンプ、
パワードスピーカーなど

パワーアンプ（ブースモニター用）、
パワードスピーカーなど



- **[MASTER 1]**出力端子は、必ずバランス出力として使用してください。
XLR-RCA変換ケーブル（変換アダプター）などを使ってアンバランス入力（RCAなど）へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。
- アンバランス入力（RCAなど）の接続には、**[MASTER 2]**出力端子を使用してください。
- **[MASTER 1]**出力端子に、ほかの製品の電源コードを接続しないように注意してください。
- **[MASTER 1]**出力端子に、ファンタム電源が供給できる端子を接続しないでください。

- **[BOOTH]** 出力端子は、必ずバランス出力として使用してください。
TRS-RCA 変換ケーブル（変換アダプター）、TS ケーブルなどを使ってアンバランス入力（RCA、TS 端子など）へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。

接続ステップ

- 1 本体フロント部の**PHONES**出力端子のいずれかにヘッドホンを接続する
- 2 **[MASTER 1]**または**[MASTER 2]**出力端子に、パワーアンプなどの出力機器を接続する
 - ブースモニターを使用するときは、**[BOOTH]** 出力端子にブースモニター用の機器を接続します。
- 3 **USB** ケーブルで、**PC/Mac** を本機に接続する
- 4 **PC/Mac** の電源をオンにする
- 5 本機に**AC** アダプターを接続する
- 6 本機の電源をオンにする
 - PC (Windows) をお使いの場合は、デバイス準備中のメッセージが表示されることがあります。準備完了のメッセージが表示されるまでお待ちください。
 - マイクやプレーヤーなどの入力機器を使用する場合は、電源をオンにします。
- 7 **[MASTER 1]**または**[MASTER 2]**出力端子に接続した機器の電源をオンにする

Serato DJ Pro

Serato DJ Pro は、Serato Limited 社製の DJ ソフトウェアです。

Serato DJ Pro ソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、Serato DJ Pro ソフトウェアをダウンロードしてください。

serato.com/dj/pro/downloads

- Serato DJ Pro の最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記のサイトを参照してください。

serato.com/dj/pro/downloads

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保証するものではありません。
- PC/Mac の省電力設定などによっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型の PC/Mac では、AC 電源を接続するなど、高パフォーマンス設定で Serato DJ Pro を使用してください。

Serato DJ Pro をインストールする

- インストールが完了するまでは、本機と PC/Mac を接続しないでください。
- Serato DJ Pro をインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。

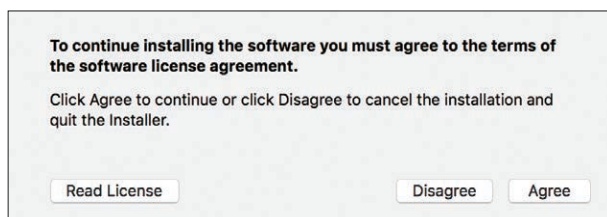
❖ Mac をお使いの場合

1 ダウンロードした **Serato DJ Pro** ソフトウェアファイルを解凍する

2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックする

インストーラーが起動します。

3 使用許諾契約書をよく読み、同意する場合は **[同意する]** をクリックする

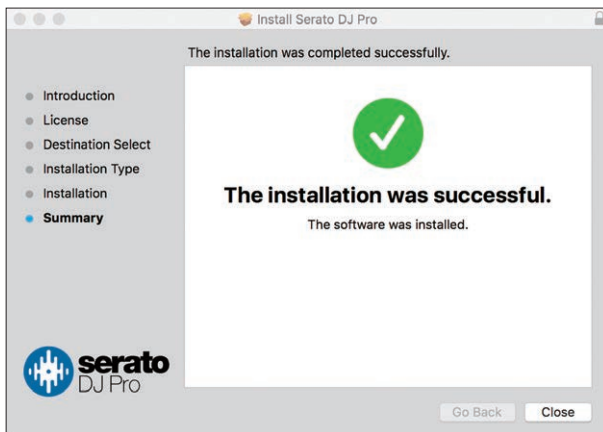


- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、[同意しない]をクリックしてインストールを中止してください。

4 [インストール]をクリックする

5 画面の指示にしたがってインストールする

6 [閉じる]をクリックする



インストーラーが終了します。

❖ Windows をお使いの場合

1 管理者権限で、PC (Windows) にログインする

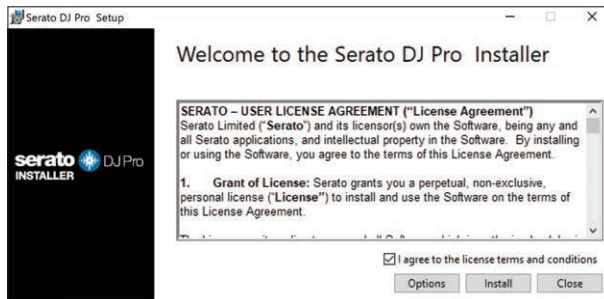
2 ダウンロードした Serato DJ Pro ソフトウェアファイルを解凍する

3 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックする

インストーラーが起動します。

4 使用許諾契約書をよく読み、同意する場合は [I agree to the license terms and conditions] を選択し、[Install] をクリックする

- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、[Close] をクリックして、インストールを中止してください。



インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

5 [Close] をクリックする



インストーラーが終了します。

Serato DJ Pro の基本操作

本機を使用する際のSerato DJ Proの基本操作を説明します。

- Serato DJ Proの操作の詳細については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。
- あらかじめ、本機とPC/Macを正しく接続してください（36 ページ）。

Serato DJ Pro を起動する

ここでは、本機のハードウェアの機能を中心に説明します。

- Serato DJ Proの操作の詳細については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。

❖ Mac をお使いの場合

- 1 **Finder**で[アプリケーション]フォルダーを開く
- 2 **[Serato DJ Pro]**をクリックする

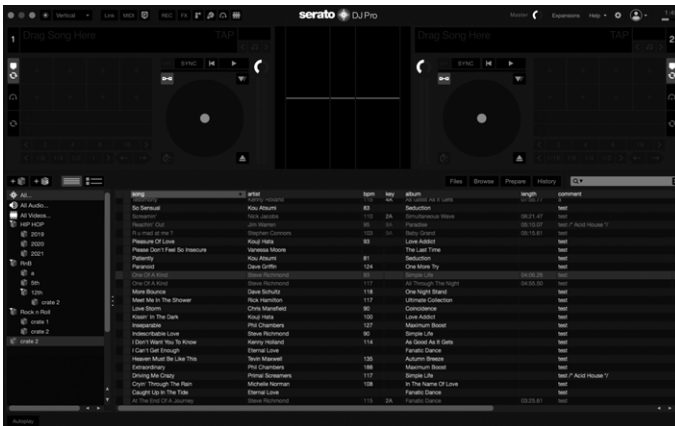
❖ Windows 11 をお使いの場合

- 1 スタートメニューから、[すべてのアプリ]→[Serato]→[Serato DJ Pro]をクリックする

❖ Windows 10 をお使いの場合

- 1 スタートメニューから、[Serato]→[Serato DJ Pro]をクリックする

起動直後のSerato DJ Pro画面



- DDJ-REV5をお使いの場合は、アクティベーションやライセンスを購入する必要はありません。
初回起動時は、画面右側に[Login to Serato.com]が表示されることがあります。アカウントにログインして、拡張パックをアクティベートしてください。

トラックをインポートする

Serato DJ Proでトラックをインポートする代表的な操作を説明します。

- その他のインポート方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。
- Serato Limited 社のDJ ソフトウェア（Scratch Live、ITCH、Serato DJ Intro、Serato DJ Lite）をお使いで、すでにライブラリを作成している場合は、以前作成したライブラリをそのまま使用できます。

Serato DJ Introをお使いの場合は、以前作成したライブラリを使用する際にトラックの再解析が必要になることがあります。

1 Serato DJ Proの画面で、[Files]をクリックする

[Files]パネルが開き、お使いのPC/Macや、PC/Macに接続されている周辺機器に含まれる内容が表示されます。

2 ライブラリに加えたいトラックが含まれているフォルダーをクリックする

フォルダーが選択されます。

3 選択したフォルダーを **crates** リストにドラッグアンドドロップする

crate が作成され、ライブラリにトラックが追加されます。

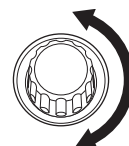


1. Files パネル
2. crates リスト

トラックをデッキにロードする

1 [BACK] ボタンを押して、**crates** リストにカーソルを移動する

2 ロータリーセクターを回して、**crate** をハイライトする



3 ロータリーセクターを押す

カーソルが選択した crate のトラックリストに移動します。

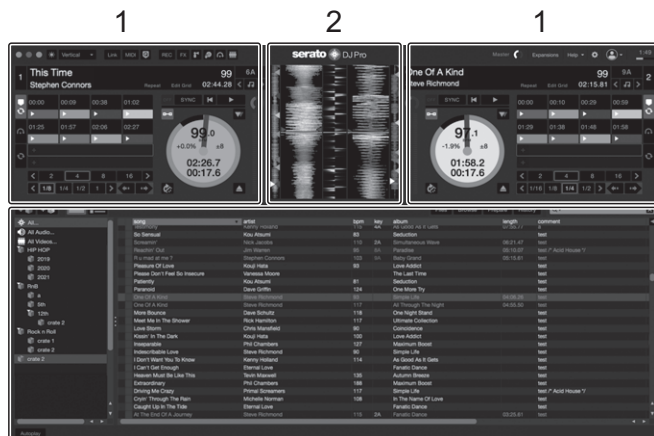
4 ロータリーセクターを回して、トラックをハイライトする

5 [LOAD] ボタンを押す

ボタンを押したデッキにトラックがロードされます。

トラックをロードしたときのSerato DJ Pro画面

画面左上の[Library]をクリックして、プルダウンメニューから[Vertical]または[Horizontal]を選び、Serato DJ Pro画面を切り替えます。



1. デッキ部

ロードされたトラックの曲名、アーティスト名、BPMなどのトラック情報や全体波形などを表示します。

2. WAVEFORM表示

ロードされたトラックの波形を表示します。

3. ブラウズ部

ライブラリ内のトラックや複数のトラックをまとめて保存したcrateを表示します。

再生

再生 / 一時停止する

1 ボタンを押す

一時停止中：再生を開始します。

再生中：一時停止します。

逆再生する

1 ボタンを押す

ボタンを押している間、スリップリバースします (72 ページ)。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[CENSOR **] を押すと逆再生し、ボタンを離しても逆再生を続けます。
もう一度 **[SHIFT]** ボタンと **[CENSOR **] ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。
 - トラックをまたいだ逆再生はできません。
 - 逆再生中にループ再生などの操作を行うと、スクラッチできないことがあります。
-

再生速度を調整する (テンポコントロール)

1 TEMPO スライダーを動かす

[+] 側に動かす：再生速度が速くなります。

[-] 側に動かす：再生速度が遅くなります。

- **[RANGE]** ボタンを押すたびに TEMPO スライダーの可変範囲が $\pm 8\% \rightarrow \pm 16\% \rightarrow \pm 50\% \rightarrow \pm 100\% \rightarrow \pm 8\% \dots$ と切り替わります。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[RANGE]** ボタンを押すと、TEMPO スライダーの位置に関わらず、トラックのオリジナルの再生速度に戻ります。

音程を変えずに再生速度を調整する（キーロック）

キーロックをオンにすると、TEMPOスライダーで再生速度を変えても音程が変わりません。

1 [KEY LOCK]ボタンを押して、キーロックをオンにする

キーロックをオンにすると、ボタンが点灯します。

- もう一度[KEY LOCK]ボタンを押すと、キーロックがオフになります。

ジョグを操作する

ジョグで以下の操作が可能です。

機能	説明
スクラッチ	VINYLモードで、再生中にジョグの天面にタッチしたまま回転させるとスクラッチできます。ジョグの天面から手を離すと、通常の再生に戻ります。
ピッチベンド	外周部分を回す、またはVINYLモードがオフのときに天面を回すとピッチベンド（再生速度の調整）ができます。
JOG SKIP	[SHIFT] ボタンを押しながらジョグの天面を回すと、回転方向に高速でトラックを送ります。[SHIFT] ボタンを離すとスクラッチ動作に変わり、再生位置を微調整することができます。

ビートシンク

ビートシンクをオンにすると、本機の左右のデッキで再生するトラックのテンポ (BPM) と拍位置を自動で合わせます。

- Serato DJ Pro で解析していないトラックはビートシンクできません。

1 DECK 1 または DECK 2 で、Serato DJ Pro で解析済みのトラックを再生する

2 シンクさせるデッキで [SYNC] ボタンを押す

ビートシンクがオンになります。

- [SHIFT] ボタンを押しながら [SYNC] ボタンを押すと、ビートシンクがオフになります。

キーシンク

キーシンクをオンにすると、本機の左右のデッキで再生するトラックのキーを自動で合わせます。

- Serato DJ Pro で解析していないトラックはキーシンクできません。

1 DECK 1 または DECK 2 で、Serato DJ Pro で解析済みのトラックを再生する

2 キーシンクさせるデッキで、[SHIFT] ボタンを押しながら [KEY -] ボタンを押す

キーシンクがオンになります。

以下のうち、変化が少ないキーに調整します。

- 同じ調
- 属調
- 下屬調
- 平行調
- 属調の平行調
- 下屬調の平行調

- [SHIFT] ボタンを押しながら [KEY +] ボタンを押すと、元のキーに戻ります。

ループ

ループを自動設定する

1 再生中に[AUTO LOOP]ボタンを押す

ボタンを押した位置からループ再生を開始します。

ループを手動設定する

1 再生中に、ループ再生を開始する位置（ループインポイント）で [SHIFT] ボタンと [1/2X] ボタンを押す

2 ループ再生を終了する位置（ループアウトポイント）で [SHIFT] ボタンと [2X] ボタンを押す

設定した区間のループ再生を開始します。

ループを半分の長さにする

1 ループ再生中に [1/2X] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ループの長さが半分にになります。

ループを2倍の長さにする

1 ループ再生中に [2X] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ループの長さが倍になります。

ループポイントを微調整する

1 ループ再生中に、[SHIFT] ボタンを押しながら [1/2X] または [2X] ボタンを押す

- [1/2X]：ループインポイントを調整します。
- [2X]：ループアウトポイントを調整します。

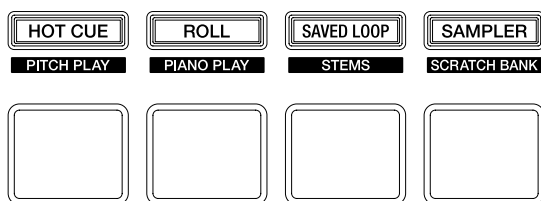
2 ジョグを回してループポイントを微調整する

- もう一度 [SHIFT] ボタンを押しながら [1/2X] または [2X] ボタンを押すとループ再生に戻ります。

パフォーマンスパッド

パフォーマンスパッドとDECK PAD（66 ページ）を組み合わせ、同時に2つのモードを使用できます。

パッドモードボタン



パッドモードボタンの操作方法によって、以下のパッドモードに切り替えます。

操作	[HOT CUE] ボタン	[ROLL] ボタン	[SAVED LOOP] ボタン	[SAMPLER] ボタン
押す	HOT CUE モード	ROLL モード	SAVED LOOP モード	SAMPLER モード
[SHIFT] ボタン + 押す	PITCH PLAY モード	PIANO PLAY モード	STEMS モード	SCRATCH BANK モード
2 回押す	SAVED FLIP モード	SLICER LOOP モード	USER MODE 1 モード	USER MODE 2 モード

COMBO PAD モード

1つのパッドモードボタンを押しながら、もう1つのパッドモードボタンを押すと、2つのパッドモード (HOT CUE、ROLL、SAVED LOOP、SAMPLER の4種類) を同時に使用できます。1つ目に押したパッドモードが上段の4つのパフォーマンスパッドに割り当てられ、2つ目に押したパッドモードが下段の4つのパフォーマンスパッドに割り当てられます。

上段と下段に割り当てられたパッドモードはそれぞれ、PAD 1～4として動作します。

HOT CUE モード

パフォーマンスパッドを押すと、ホットキューポイントを瞬時に呼び出し、再生を開始します。

- 設定できるホットキューは、1トラックにつき8個までです。
- HOT CUE モードは、DECK PAD (パッドボタン) で使用することもできます (66 ページ)。

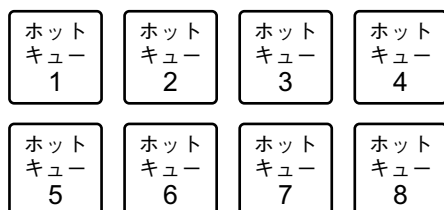
1 [HOT CUE] ボタンを押す

HOT CUE モードに切り替わります。

2 再生中または一時停止中に、ホットキューポイントを設定したい位置でいずれかのパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントが設定されます。

- ホットキューは、以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられます。



3 ホットキューポイントが設定されているいずれかのパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生を開始します。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されているホットキューポイントを削除します。

ROLL モード

パフォーマンスパッドを押している間、パッドに割り当てられている拍数のループロール再生を行います。

1 [ROLL] ボタンを押す

ROLL モードに切り替わります。

2 [PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、パフォーマンスパッドに割り当てる拍数が以下のように切り替わります。

- 1/32 から 4 拍
- 1/16 から 8 拍
- 1/8 から 16 拍
- 1/4 から 32 拍

例：1/8 から 16 拍を設定した場合、各パフォーマンスパッドには以下のように拍数が割り当てられます。

1/8 拍	1/4 拍	1/2 拍	1 拍
2 拍	4 拍	8 拍	16 拍

Serato DJ Pro の画面には、設定されている拍数が表示されます。



3 ループ再生したい拍数が設定されているパフォーマンスパッドを押す

パッドを押している間、設定されている拍数でループロール再生を行います。

- ループロール再生中に [1/2X] または [2X] ボタンを押すと、再生中のループロールの拍数を変更できます。

- ループロール再生中は、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。
- パフォーマンスパッドを離すとループロール再生が解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。

SAVED LOOP モード

Serato DJ Proのループスロットにループを保存したり、保存したループを呼び出します。

- SAVED LOOPモードは、DECK PAD（パッドボタン）で 사용할 수도 있습니다（68 ページ）。

1 [SAVED LOOP] ボタンを押す

SAVED LOOP モードに切り替わります。

2 ループ再生中に、いずれかのパフォーマンスパッドを押す

Serato DJ Proのループスロットにループが割り当てられます。



3 [SHIFT] ボタンを押しながら、ループが設定されているいずれかのパフォーマンスパッドを押す

ループの先頭から再生を開始します。

- ループ再生中に[PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押すと、再生中のループの長さを変更できます。呼び出したループの長さを変更した場合は、設定が上書き保存されます。
- ループ再生中に[SHIFT] ボタンを押しながら[PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押すと、ループの長さを変えずにループを移動できます。呼び出したループを移動した場合は、設定が上書き保存されます。
- もう一度同じパフォーマンスパッドを押すと、ループ再生が解除されます。

SAMPLER モード

パフォーマンスパッドを使って、サンプラーのサンブラスロットにロードされたトラックの再生を開始します。

- SAMPLER モードは、DECK PAD (パッドボタン) で使用することもできます (69 ページ)。

1 Serato DJ Pro の画面で、[SAMPLER] パネルを表示する

2 本機で、[SAMPLER] ボタンを押す

SAMPLER モードに切り替わります。

3 [PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押して、サンプラーのバンクを切り替える

4 つ (A、B、C、D) のバンクが切り替わります。

- それぞれのバンクには 8 つのスロットがあります。

4 Serato DJ Pro の画面で、トラックを [SAMPLER] パネルの各スロットにドラッグアンドドロップしてロードする

サンプラーの設定とロードしたトラックが保存されます。

5 再生したいスロット (トラック) が設定されているパフォーマンスパッドを押す

スロット音声の再生を開始します。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

スロット 1	スロット 2	スロット 3	スロット 4
スロット 5	スロット 6	スロット 7	スロット 8

6 [SAMPLER VOLUME] ノブを回して、サンプラー音声の音量を調節する

- Serato DJ Proのサンプラーのモードによって再生方法が異なります。詳細については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、スロット音声の再生を停止します。

PITCH PLAY モード

ピッチプレイとは、Pitch 'n Time DJの機能です。

- PITCH PLAY モードを使用するには、Pitch 'n Time DJのアクティベートが必要です。詳細については、下記のサイトを参照してください。

serato.com

1 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、**[HOT CUE]** ボタンを押す

PITCH PLAY モードに切り替わります。

2 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに設定されているホットキューポイントが選択されます。

3 パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられているピッチで、選択したホットキューポイントから再生を開始します。

- ピッチプレイ中に、**[PARAMETER 1 ◀]** または **[PARAMETER 1 ▶]** ボタンを押すと、ピッチのレンジを変更できます。ボタンを押すごとに、アップレンジ、ミドルレンジ、ダウンレンジが切り替わります。

— アップレンジ：

+4	+5	+6	+7
0	+1	+2	+3

— ミドルレンジ：

0	+1	+2	+3
-4	-3	-2	-1

— ダウンレンジ：

-3	-2	-1	0
-7	-6	-5	-4

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[PARAMETER 1 ◀]** または **[PARAMETER 1 ▶]** ボタンを押すと、ピッチを半音単位でシフトできます。

PIANO PLAY モード

1 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、**[ROLL]** ボタンを押す

PIANO PLAY モードに切り替わります。

- 左右両方のパフォーマンスパッドにピッチがピアノレイアウトで割り当てられます。もう一方のデッキのパッドモードは無効になります。

2 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに設定されているホットキューポイントが選択されます。

3 パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられているピッチで、選択したホットキューポイントから再生を開始します。

- 左デッキの **[PARAMETER 1 ◀]** または **[PARAMETER 1 ▶]** ボタンを押すと、ピッチのレンジを変更できます。ボタンを押すごとに、アップレンジ、ミドルレンジ、ダウンレンジが切り替わります。

- 右デッキの[PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押すと、パフォーマンスパッドのスケール表示を変更できます。マイナーペンタトニック ↔ メジャー ↔ メジャーペンタトニックの順に切り替わります。スケールを変更しても各パフォーマンスパッドに割り当てられているピッチは変更されません。

— アップレンジ :

	+1	+3		+6	+8	+10	
0	+2	+4	+5	+7	+9	+11	+12

— ミドルレンジ :

-6	-4	-2		+1	+3		+6
-5	-3	-1	0	+2	+4	+5	+7

— ダウンレンジ :

	-11	-9		-6	-4	-2	
-12	-10	-8	-7	-5	-3	-1	0

- 以下の操作を行うと、PIANO PLAY モードは解除されます。
 - ほかのパッドモードに切り替える。
 - [DECK] ボタンで操作するデッキを切り替える。
 - 入力切替えスイッチを切り替える。

STEMS モード

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[SAVED LOOP] ボタンを押す

STEMS モードに切り替わります。

2 再生したい **STEM** が割り当てられているパフォーマンスパッドを押す

- 各 Stem は以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

VOCAL	MELODY	BASS	DRUMS
VOCAL ECHO	INSTRUMENTAL ECHO	INSTRUMENTAL BRAKER	DRUMS ECHO

SCRATCH BANK モード

スクラッチバンクの音声をデッキにロードして使用します。

- SCRATCH BANK モードは、DECK PAD（パッドボタン）で 사용할 수도 있습니다（67 ページ）。

1 Serato DJ Pro の画面で、[SCRATCH BANK] パネルを表示する

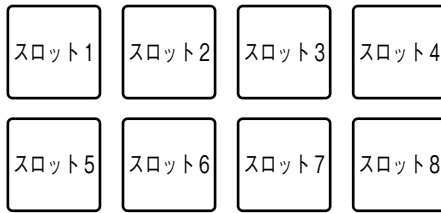
2 本機で、[SHIFT] ボタンを押しながら [SAMPLER] ボタンを押す

SCRATCH BANK モードに切り替わります。

3 ロードしたいスクラッチバンクが設定されているスロットのパフォーマンスパッドを押す

スクラッチバンクの音声がロードされます。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。



- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、直前にロードされていたトラックをロードします。

SAVED FLIP モード

Serato Flip は、ホットキュー操作などのシーケンスを記録したり、呼び出したりする機能です。

本機のパフォーマンスパッドを使って、Flip を保存したり、再生できます。

- Saved Flip モードを使用するには、Serato Flip の購入とアクティベートが必要です。詳細については、下記のサイトを参照してください。

serato.com

❖ Flip をスロットへ保存する

1 Serato DJ Pro を使って、Flip を作成する

- Flip の作成方法については、Serato DJ Pro のソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。

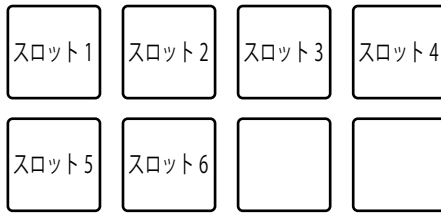
2 **[HOT CUE]** ボタンを 2 回押す

SAVED FLIP モードに切り替わります。

3 **Flip** を保存したいスロットが設定されているパフォーマンスパッドを押す

Flip がスロットに保存されます。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。



- スロットに空きがないときは、Flip を保存できません。Serato DJ Pro のスロット画面で、スロットに設定されている Flip を削除してください。

❖ Flip を呼び出して再生する

1 [HOT CUE] ボタンを2回押す

SAVED FLIP モードに切り替わります。

2 再生したいスロット (Flip) が設定されているパフォーマンスパッドを押す

Flip を呼び出し、先頭から再生を開始します。

- 各スロットは以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。



- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、Flip を呼び出しますが、先頭へは移動しません。トラックの再生位置が Flip の先頭に達すると、Flip の再生が開始されます。
- Flip 再生中にパフォーマンスパッドを押すと、再生中の Flip の先頭へ移動します。
- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、Flip の再生を終了して通常の再生に戻ります。

SLICER LOOP モード

指定した範囲を8分割し、分割したそれぞれの区間を各パフォーマンスパッドに割り当てます。

パフォーマンスパッドを押している間、パッドに割り当てられている区間の音声をループ再生します。



- スライサーループは、ビートグリッドが設定されていないトラックでは使用できません。ビートグリッドの設定方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。

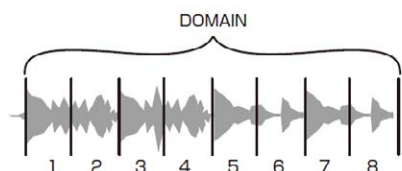
1 [ROLL] ボタンを2回押す

SLICER LOOP モードに切り替わります。

2 [SHIFT] ボタンを押しながら、[PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押して、8分割する範囲 (DOMAIN) を指定する

- ボタンを押すごとに、ボタンを押した位置から DOMAIN が以下のように設定されます。
 - 2拍
 - 4拍
 - 8拍
 - 16拍
 - 32拍
 - 64拍
- DOMAIN を8分割した各区間は、各パフォーマンスパッドに以下のように割り当てられます。

分割された区間1～8:



パフォーマンスパッドへの割り当て:



3 [PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押して、**QUANTIZATION**を設定する

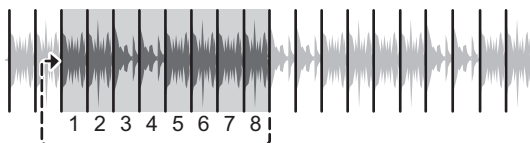
ボタンを押すごとに、QUANTIZATIONが以下のように設定されます。

- 1/8 (区間の先頭から 1/8 の長さをループ再生する)
- 1/4 (区間の先頭から 1/4 の長さをループ再生する)
- 1/2 (区間の先頭から 1/2 の長さをループ再生する)
- 1 (区間全体をループ再生する)

4 ループ再生したい区間が設定されているパフォーマンスパッドを押す

パッドを押している間、ループ再生を行います。

- スライサーループ再生中は、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。
- パフォーマンスパッドを離すとスライサーループ再生が解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。
- 再生位置が DOMAIN の最後まで進むと、先頭 (区間 1) に戻ります。



ユーザーモード

DJソフトウェアのMIDIアサインモードを使って、本機のパフォーマンスパッドにお好みのDJソフトウェア機能をアサインできます。

ユーザーモードは2つあり、各ユーザーモードで8個のパッドにお好みの機能をアサインできます。

ここではSerato DJ Proと組み合わせてユーザーモードを使用する場合を説明します。

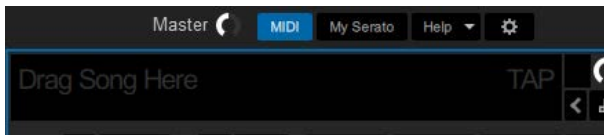
- DJソフトウェアのMIDIアサインモードについては、DJソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

1 [SAVED LOOP]または[SAMPLER]ボタンを2回押す

- [SAVED LOOP]：ユーザーモード1に切り替わります。
- [SAMPLER]：ユーザーモード2に切り替わります。

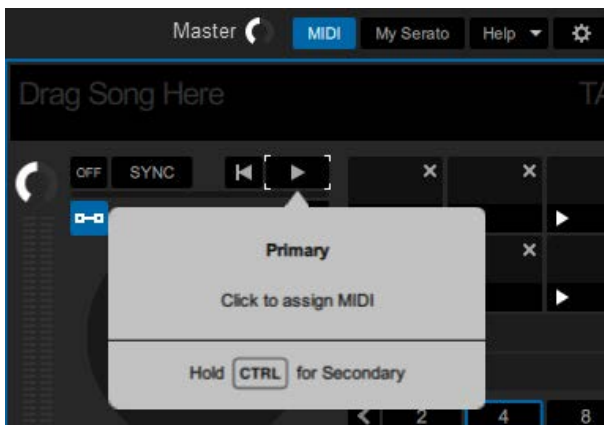
2 Serato DJ Pro画面で、[MIDI]をクリックする

Serato DJ ProがMIDIアサインモードに切り替わります。



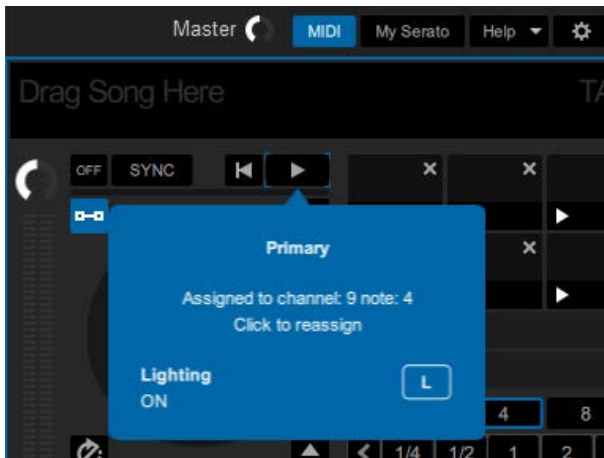
3 本機のパフォーマンスパッドにアサインする機能をクリックする

例：[▶] (PLAY/PAUSE) ボタンをアサインするとき



4 選択した機能をアサインするパッドを押す

アサインに成功すると、アサイン完了メッセージが表示されます。



- [MIDI] をクリックすると、MIDI アサインモードを終了します。
- 設定完了後に本機をユーザーモードに切り替えると、パフォーマンスパッドにアサインされた Serato DJ Pro の機能を使用できます。

DECK PAD

パフォーマンスパッド (51 ページ) と DECK PAD を組み合わせて、同時に2つのモードを使用できます。

DECK PAD モードボタン



DECK PAD モードボタンの操作方法によって、以下のパッドモードに切り替えます。

操作	[HOT CUE] ボタン	[SCRATCH BANK] ボタン
押す	HOT CUE モード	SCRATCH BANK モード
[SHIFT] ボタン + 押す	SAVED LOOP モード	SAMPLER モード

HOT CUE モード

パッドボタン ([VOCAL/PAD 1]、[MELODY/PAD 2]、[BASS/PAD 3]、[DRUMS/PAD 4]) を押すと、ホットキューポイントを瞬時に呼び出し、再生を開始します。

- 設定できるホットキューは、1トラックにつき4個 (ホットキュー 1～4) までです。
- HOT CUE モードは、パフォーマンスパッドで使用することもできます (52 ページ)。

1 [HOT CUE] ボタンを押す

HOT CUE モードに切り替わります。

2 再生中または一時停止中に、ホットキューポイントを設定したい位置でいずれかのパッドボタンを押す

ホットキューポイントが設定されます。

- ホットキューは、以下のようにパッドボタンに割り当てられます。



3 ホットキューポイントが設定されているいずれかのパッドボタンを押す

ホットキューポイントから再生を開始します。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパッドボタンを押すと、設定されているホットキューポイントを削除します。

SCRATCH BANK モード

スクラッチバンク（スロット1～4）の音声をデッキにロードして使用します。

- SCRATCH BANKモードは、パフォーマンスパッドで使用することもできます（59 ページ）。

1 Serato DJ Proの画面で、**[SCRATCH BANK]**パネルを表示する

2 本機で、**[SCRATCH BANK]**ボタンを押す

SCRATCH BANKモードに切り替わります。

3 ロードしたいスクラッチバンクが設定されているスロットのパッドボタンを押す

スクラッチバンクの音声がロードされます。

- 各スロットは以下のようにパッドボタンに割り当てられています。



- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパッドボタンを押すと、直前にロードされていたトラックをロードします。

SAVED LOOP モード

Serato DJ Pro のループスロット（1～4）にループを保存したり、保存したループを呼び出します。

- SAVED LOOP モードは、パフォーマンスパッドで使用することもできます（54 ページ）。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら [HOT CUE] ボタンを押す

SAVED LOOP モードに切り替わります。

2 ループ再生中に、いずれかのパッドボタンを押す

Serato DJ Pro のループスロットにループが割り当てられます。



3 [SHIFT] ボタンを押しながら、ループが設定されているいずれかのパッドボタンを押す

ループの先頭から再生を開始します。

- もう一度同じパッドボタンを押すと、ループ再生が解除されます。

SAMPLER モード

パッドボタンを使って、サンプラーのサンプラーズロット（1～4）にロードされたトラックの再生を開始します。

- SAMPLER モードは、パフォーマンスパッドで使用することもできます（55 ページ）。

1 Serato DJ Pro の画面で、[SAMPLER] パネルを表示する

2 本機で、[SHIFT] ボタンを押しながら [SCRATCH BANK] ボタンを押す

SAMPLER モードに切り替わります。

3 Serato DJ Pro の画面で、トラックを [SAMPLER] パネルの各スロットにドラッグアンドドロップしてロードする

サンプラーの設定とロードしたトラックが保存されます。

4 再生したいスロット（トラック）が設定されているパッドボタンを押す

スロット音声の再生を開始します。

- 各スロットは以下のようにパッドボタンに割り当てられています。



5 [SAMPLER VOLUME] ノブを回して、サンプラー音声の音量を調節する

- Serato DJ Pro のサンプラーのモードによって再生方法が異なります。詳細については、Serato DJ Pro のソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。
- [SHIFT] ボタンを押しながらパッドボタンを押すと、スロット音声の再生を停止します。

DUAL DECK モード

DUAL DECK モードは、DECK 1 と DECK 3（または DECK 2 と DECK 4）で2つの異なるトラックをミックスするときに、両方のデッキを同時にコントロールできます。

マッシュアップやブレンドでミックスした2つの異なるトラックを1つのトラックであるかのように、スクラッチ、ループ、ホットキューなどの操作が可能です。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[DECK] ボタンを押す

DUAL DECK モードに切り替わります。

- DECK 1 と DECK 2 がアクティブデッキになります。アクティブデッキの変更はできません。
- もう一度 [SHIFT] ボタンを押しながら [DECK] ボタンを押すと、DUAL DECK モードがオフになります。
- DUAL DECK モードでは、各ボタンやノブで以下の機能をコントロールできます。

ボタン/ノブ	機能
ジョグ	デッキ再生操作
[TRIM] ノブ	音量調整
[HI, MID, LOW] ノブ	EQ 調整
チャンネルフェーダー	音量調整
クロスフェーダー	音量調整
[FILTER] ノブ	エフェクトの調整
エフェクトレバー	エフェクトの操作
パフォーマンスパッド	各パッドモードの操作
ループ操作ボタン	ループ操作
[SYNC] ボタン	BPM を合わせる
[KEY LOCK] ボタン	キーをロックする

ボタン/ノブ	機能
DECK PAD ボタン	DECK PAD 操作 (STEMS モード以外)
[SLIP] ボタン	SLIP モード
[CENSOR ] ボタン	スリップリバース
[KEY -]、[KEY +] ボタン	キーの調整
[CUE] ボタン	キューポイント操作
▶/ ボタン	再生 / 一時停止
[ CUE] ボタン	ヘッドホンモニター

AUTO BPM TRANSITION

自動的にBPMを調整し、ミックス操作のアシストをします。

- 1 **[SELECT]** ボタンを押しながら、パッドボタン (**[VOCAL/PAD 1]**、**[MELODY/PAD 2]**、**[BASS/PAD 3]**、**[DRUMS/PAD 4]**) のいずれかを押して、**AUTO BPM TRANSITION** 中に出力する **STEM** を選択する
 - **[SELECT]** ボタンを押しながら **[KEY LOCK]** または **[AUTO LOOP]** ボタンを押すと、**AUTO BPM TRANSITION** 中の状態を選択できます。
- 2 **[SHIFT]** を押しながら **[SELECT]** ボタンを押して、移行にかかる時間を小節数で選択する
- 3 **▶ (AUTO BPM TRANSITION START)** ボタンを押す
AUTO BPM TRANSITION が開始します。

- 反対側のデッキのシンクボタンがオフのときに **[▶]** (AUTO BPM TRANSITION START) ボタンを押すと、テンポを徐々に変更して反対側のデッキのBPMに合わせます。設定した小節数が経過するとBPMが一致して、自動的にAUTO BPM TRANSITIONを終了します。
- 反対側のデッキのシンクボタンがオンのときに **[▶]** (AUTO BPM TRANSITION START) ボタンを押すと、テンポを徐々に変更して反対側のデッキのオリジナルBPMに合わせます。設定した小節数が経過するとBPMが一致して、自動的にAUTO BPM TRANSITIONを終了します。
- **[SELECT]** ボタンを押しながら **[▶]** (AUTO BPM TRANSITION START) ボタンを押すと、テンポを徐々に変更して、操作しているデッキのオリジナルのBPMに合わせます。設定した小節数が経過するとBPMが一致して、自動的にAUTO BPM TRANSITIONを終了します。
- もう一度 **[▶]** (AUTO BPM TRANSITION START) ボタンを押すと、AUTO BPM TRANSITIONを終了します。

SLIP

SLIPモードをオンにすると、以下の操作中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。

操作を終了するとスリップが解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。

機能	説明
スリップポーズ	再生中に [▶/] ボタンを押すと、一時停止中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップスクラッチ	再生中にジョグの天面を操作してスクラッチすると、スクラッチ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップループ	ループ再生を開始すると (49 ページ)、ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。
スリップリバース	再生中に [CENSOR ⏮] ボタンを押すと逆再生します (46 ページ)。逆再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

機能	説明
スリップホットキュー	再生中にホットキューが設定されているいずれかのパフォーマンスパッド（52 ページ）またはパッドボタン（66 ページ）を押すと、ホットキューポイントに戻り、ボタンを押している間再生を続けます。ホットキュー再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

1 [SLIP] ボタンを押す

SLIP モードがオンになり、[SLIP] ボタンが点灯します。

- スリップ動作中は[SLIP] ボタンが点滅します。
- もう一度[SLIP] ボタンを押す、またはトラックをロードすると SLIP モードがオフになります。

フェーダースタート

フェーダーノブの操作で、再生を開始できます。

チャンネルフェーダースタートを使う

- 設定ユーティリティの [PREFERENCES] タブの [フェーダースタートの動作オプション] で[CUE] または[HOT CUE] を選択する

☛ 「各種設定を変更する」（33 ページ）

- [SHIFT] ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

キューポイントからトラックの再生を開始します。

- 再生中に[SHIFT] ボタンを押しながらチャンネルフェーダーを一番手前の位置に戻すと、キューポイントに瞬時に戻り、一時停止します（バックキュー）。
- キューが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を開始します。

- 設定ユーティリティの **[PREFERENCES]** タブで、チャンネルフェーダースタートの動作開始と同時にシンク機能をオンにする設定に変更することもできます (33 ページ)。

クロスフェーダースタートを使う

1 設定ユーティリティの **[PREFERENCES]** タブの **[フェーダースタートの動作オプション]** で **[CUE]** または **[HOT CUE]** を選択する

- ☐ 「各種設定を変更する」 (33 ページ)

2 クロスフェーダーを左端または右端の位置に合わせる

- フェーダースタートさせるチャンネルとは反対側の端に合わせます。

3 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端から逆側に動かす

キューポイントからトラックの再生を開始します。

- 再生中に **[SHIFT]** ボタンを押しながらクロスフェーダーを元の位置に戻すと、キューポイントに瞬時に戻り、一時停止します (バックキュー)。
- キューが設定されていないときは、トラックの先頭から再生を開始します。

エフェクト

Serato DJ Proのエフェクトを本機からコントロールできます。

1 使用したいエフェクトがアサインされている **[FX SELECT]** ボタンを押す

- エフェクトが割り当てられた複数の**[FX SELECT]** ボタンを同時に押すと、複数のエフェクトを選択できます。
- **[FX SELECT]** ボタンを押しながらロータリーセクターを回転すると、エフェクトの種類を選択できます。

2 **[BEAT ◀]** または **[BEAT ▶]** ボタンを押して、エフェクトを同期させる拍数を設定する

3 **[LEVEL/DEPTH]** ノブを回して、エフェクトを調整する

- 左に回しきると、原音が出力されます。

4 エフェクトレバーを **[ON]** または **[LOCK ON]** に合わせる

エフェクトレバーを操作したチャンネルの音声に、選択したエフェクトを加えます。

rekordbox

rekordbox for Mac/Windows は楽曲管理と DJ パフォーマンスができる DJ ソフトウェアです。

- rekordbox の DJ パフォーマンス機能を PERFORMANCE モードと呼びます。本機を rekordbox for Mac/Windows がインストールされた PC/Mac に接続することで、サブスクリプションプランに契約していなくても PERFORMANCE モードの機能を使用することができます。この仕組みを Hardware Unlock と呼びます。
- Hardware Unlock の対象機能については、下記のサイトを参照してください。

rekordbox.com

- rekordbox for Mac/Windows ソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、rekordbox for Mac/Windows ソフトウェアをダウンロードしてください。

rekordbox.com

- rekordbox for Mac/Windows の最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記のサイトを参照してください。

rekordbox.com/system

- 対応 OS は、最新のバージョンおよびサービスパックを使用してください。
- インターネットを使用する場合は、別途プロバイダーとの契約および料金が必要となります。
- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- PC/Mac の省電力設定などによっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型の PC/Mac では、AC 電源を接続するなど、高パフォーマンス設定で rekordbox for Mac/Windows を使用してください。

rekordbox をインストールする

以下の手順に従って、最新版のrekordbox をインストールしてください。

- すでにrekordbox をインストール済みの場合は、rekordbox 起動時に表示されるアップデートマネージャーから最新版にアップデートしてください。
- インストールが完了するまでは、本機とPC/Mac を接続しないでください。
- rekordbox をインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。

❖ Mac をお使いの場合

1 ダウンロードしたrekordbox ソフトウェアファイルを解凍する

2 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックする

インストーラーが起動します。

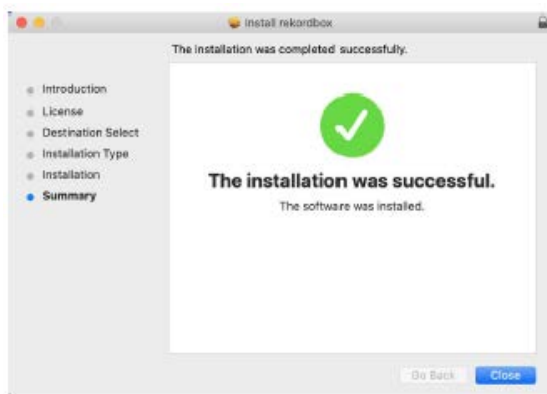
3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[同意する]をクリックする



インストールが開始されます。

- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、[同意しない]をクリックして、インストールを中止してください。

4 インストール完了画面が表示されたら、[閉じる]をクリックする



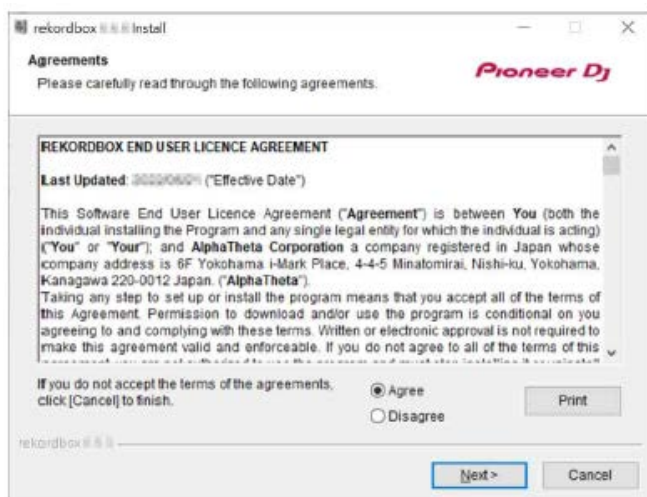
rekordbox インストーラーが終了します。

❖ Windows をお使いの場合

- 1 管理者権限で、PC (Windows) にログインする
- 2 ダウンロードしたrekordboxソフトウェアファイルを解凍する
- 3 解凍したソフトウェアファイルをダブルクリックする

インストーラーが起動します。

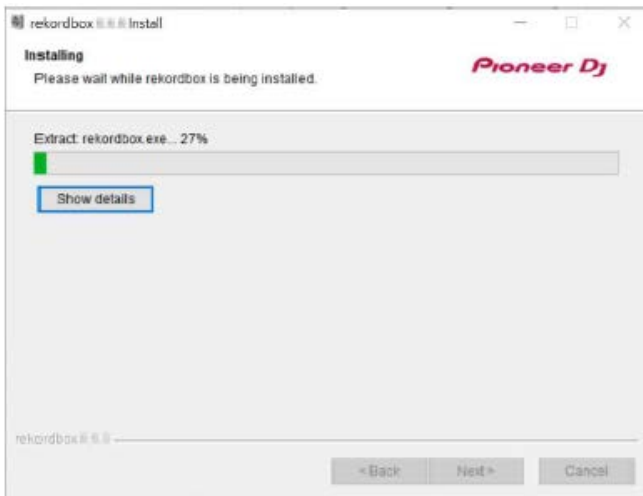
- 4 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[同意します]を選択し、[次へ]をクリックする



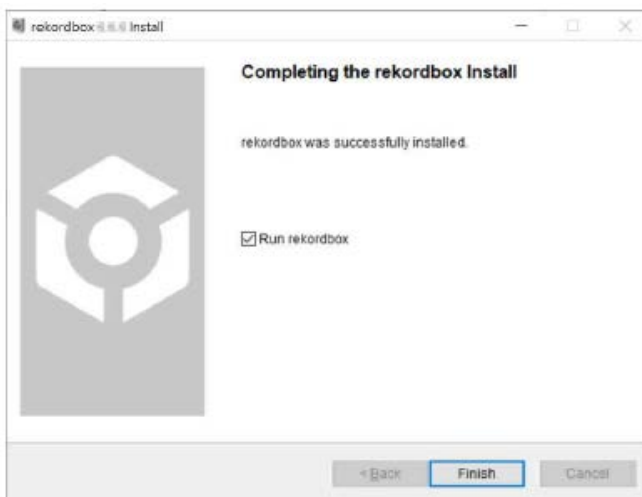
- 使用許諾契約の内容に同意しないときは、[キャンセル]をクリックして、インストールを中止してください。

5 インストール先を指定します。

インストールが開始されます。



6 インストール完了画面が表示されたら、[完了]をクリックする



rekordbox インストーラーが終了します。

rekordbox の基本操作

本機を使用する際のrekordboxの基本操作を説明します。

- rekordboxを使用するには、Pioneer DJアカウントを登録する必要があります。詳細については、「rekordbox イントロダクション」を参照してください（6 ページ）。

rekordbox を起動する

❖ Mac をお使いの場合

- 1 Finder で[アプリケーション]フォルダーを開く
- 2 [rekordbox 6] フォルダーをクリックする
- 3 [rekordbox.app] をダブルクリックする

❖ Windows 11 をお使いの場合

- 1 スタートメニューから、[すべてのアプリ]→[Pioneer]→[rekordbox 6]をクリックする

❖ Windows 10 をお使いの場合

- 1 スタートメニューから、[Pioneer]→[rekordbox 6]をクリックする

オーディオ設定を確認する

1 rekordboxの[環境設定]で、[オーディオ]設定を確認する

- Macをお使いのとき
 - [オーディオ] : [DDJ-REV5]
 - [出力チャンネル] :
 - [Master Output] : [DDJ-REV5 : MASTER + Mac内のオーディオデバイス名]
 - [Headphones Output] : [DDJ-REV5: PHONES]
- Windowsをお使いのとき
 - [オーディオ] : [DDJ-REV5 ASIO]
 - [出力チャンネル] :
 - [Master Output] : [DDJ-REV5 ASIO : MASTER + PC内のオーディオデバイス名]
 - [Headphones Output] : [DDJ-REV5 ASIO : PHONES]
- [PC MASTER OUT] (PC/Macのスピーカーからマスター音声を出力する機能。初期設定ではオン) がオフの場合は、[オーディオ]設定の[Master Output]が[DDJ-REV5 : MASTER] (Mac)/ [DDJ-REV5 ASIO : MASTER] (Windows)になります。
- PC/Macのスピーカーからマスター音声を出力させたくない場合は、右上のをクリックして消灯してください。

トラックを解析する

PC/Mac内にあるトラックを rekordbox のコレクション（rekordbox が管理するトラック一覧を表示する画面）に登録すると解析され、rekordbox でそのトラックを使用できるようになります。

1 ツリービューの[コレクション]をクリックする

[コレクション]内に登録されているトラックリストが表示されます。

2 Finder またはエクスプローラーを開いて、トラックやトラックを含むフォルダーをトラックリストにドラッグアンドドロップする

トラックが[コレクション]に追加され、トラックの解析を開始します。

- すべてのトラックの解析が終わるまでお待ちください。
- 解析が完了していないトラックをデッキにロードすると、BPM や波形表示に時間がかかることがあります。
- トラックの数によっては、解析に時間がかかる場合があります。

トラックをデッキにロードする

1 ロータリーセクターを回して、[コレクション]内のトラックを選択する

2 ロータリーセクターを押す

ロータリーセクタを押したデッキにトラックがロードされます。

トラックを再生する

1 トラックを再生するデッキで、ノブなどの位置を以下のように設定する

- 入力切替えスイッチ：[ A]の位置
- [TRIM] ノブ：左に回しきった位置
- [HI、MID、LOW] ノブ：中心位置
- [FILTER] ノブ：中心位置
- チャンネルフェーダー：手前側の位置
- [MASTER LEVEL] ノブ：左に回しきった位置
- クロスフェーダー：中心位置

2 ボタンを押してトラックを再生する

3 [TRIM] ノブを回す

- チャンネルレベルインジケータのオレンジ色のインジケータが、ピークレベルで点灯するように、[TRIM] ノブを調整してください。

4 チャンネルフェーダーを奥側に動かす

5 [MASTER LEVEL] ノブを回して、[MASTER 1]/[MASTER 2] 出力端子から出力される音声レベルを適切な音量に調整する

- PC/Macのスピーカーから音声を出力する場合は、[MASTER LEVEL] ノブではなく、PC/Macのスピーカーの音量を調節してください。
- [MASTER 1]/[MASTER 2] 出力端子から音声が出力されないときや、本機をPC/Macに接続しても認識しないときなどは、Pioneer DJ サポートページの[よくある質問 (FAQ)]を確認してください。

pioneerdj.com/support/

ヘッドホンで音声をモニターする

1 PHONES 端子にヘッドホンを接続する

- 「入力端子に接続する」(36 ページ)

2 HEADPHONES セクションのノブの位置を、以下のように設定する

- [MIX] ノブ：中心位置
- [LEVEL] ノブ：左に回しきった位置

3 [🎧 CUE (CH 1, CH 2)] ボタンを押す

4 [LEVEL] ノブを回して、ヘッドホンから出力される音声レベルを適切な音量に調整する

rekordbox を終了する

1 [X] ボタンをクリックする、またはメニューから [ファイル] → [終了] を選ぶ

ループ

ループを自動設定する

1 再生中に[AUTO LOOP]ボタンを押す

ボタンを押した位置からループ再生を開始します。

ループを手動設定する

1 再生中に、ループ再生を開始する位置（ループインポイント）で [SHIFT] ボタンと [1/2X] ボタンを押す

2 ループ再生を終了する位置（ループアウトポイント）で [SHIFT] ボタンと [2X] ボタンを押す

設定した区間のループ再生を開始します。

ループを半分の長さにする

1 ループ再生中に [1/2X] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ループの長さが半分にになります。

ループを2倍の長さにする

1 ループ再生中に [2X] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ループの長さが倍になります。

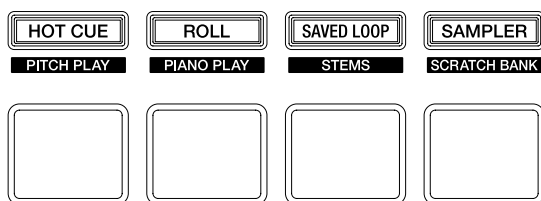
ループポイントを微調整する

- 1 ループ再生中に、[SHIFT] ボタンを押しながら [1/2X] または [2X] ボタンを押す
 - [1/2X]：ループインポイントを調整します。
 - [2X]：ループアウトポイントを調整します。
- 2 ジョグを回してループポイントを微調整する
 - 微調整後に [SHIFT] ボタンを押しながら [1/2X] または [2X] ボタンを押すと、ループ再生状態に戻ります。

パフォーマンスパッド

それぞれの機能はパッドモードボタン ([HOT CUE]、[ROLL]、[SAVED LOOP]、[SAMPLER]) で切り替えます。

パッドモードボタン



パッドモードボタンの操作方法によって、以下のパッドモードに切り替えます。

操作	[HOT CUE] ボタン	[ROLL] ボタン	[SAVED LOOP] ボタン	[SAMPLER] ボタン
押す	HOT CUE モード	PAD FX モード	BEAT JUMP モード	SAMPLER モード
[SHIFT] ボタン + 押す	KEYBOARD モード	PIANO PLAY モード	BEAT LOOP モード	SAMPLE SCRATCH モード
2 回押す	USER モード 1	USER モード 2	USER モード 3	USER モード 4

HOT CUE モード

パフォーマンスパッドを押すと、ホットキューポイントを瞬時に呼び出し、再生を開始します。

- ホットキューのほかに、ループを設定し瞬時に呼び出すこともできます。
- rekordboxで設定できるホットキューは1トラックにつき16個までですが、本機から呼び出し、設定できるのは8か所までです。

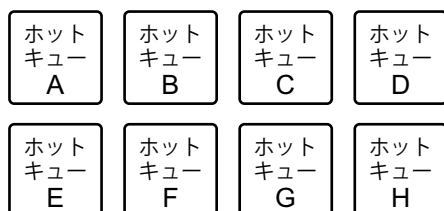
1 [HOT CUE] ボタンを押す

HOT CUE モードに切り替わります。

2 再生中または一時停止中に、ホットキューポイントを設定したい位置でいずれかのパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントが設定されます。

- ホットキューは、以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられます。



3 ホットキューポイントが設定されているいずれかのパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントから再生を開始します。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されているホットキューポイントを削除します。
- rekordboxの[環境設定]→[コントローラー]→[デッキ]で、[HOT CUE]の[一時停止中はGATE再生]にチェックを入れると、一時停止中にGATE再生することができます。

❖ ループを設定する

1 [HOT CUE] ボタンを押す

HOT CUE モードに切り替わります。

2 再生中にループを設定する

ループ再生を開始します。

☛ 「[ループを自動設定する] (85 ページ)」, 「[ループを手動設定する] (85 ページ)」

3 ループ再生中にパフォーマンスパッドを押す

ループが設定されます。

4 ループが設定されているパフォーマンスパッドを押す

ループインポイントからループ再生を開始します。

- [SHIFT] ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、設定されているループを削除します。

❖ キューポイントと呼び出す

rekordbox 画面の MEMORY CUE に保存したキューポイントやループポイントと呼び出すことができます。

1 [HOT CUE] ボタンを押す

HOT CUE モードに切り替わります。

2 [PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押す

MEMORY CUE に保存したキューポイントやループポイントと呼び出します。

- MEMORY CUE については、rekordbox の「操作説明書」を参照してください (6 ページ)。

PAD FX モード

パフォーマンスパッドを押す、離すだけの簡単な操作でエフェクトパフォーマンスができます。

1 [ROLL] ボタンを押す

PAD FX モードに切り替わります。

- エフェクトは、以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

エフェクト A	エフェクト B	エフェクト C	エフェクト D
エフェクト E	エフェクト F	エフェクト G	エフェクト H

2 パフォーマンスパッドを押し続ける

パフォーマンスパッドを押している間、パッドに割り当てられているエフェクトと拍数設定でエフェクトがオンになります。

- パフォーマンスパッドから指を離すとエフェクトがオフになります。
- [PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押すと、拍数設定を変更できます。

❖ PAD FX の RELEASE FX

あらかじめリリースFX をパフォーマンスパッドに割り当てます。

1 リリースFX以外のエフェクトが割り当てられているパフォーマンスパッドを押し続ける

パッドに割り当てられているエフェクトと拍数設定で、エフェクトがオンになります。

2 リリースFXが割り当てられているパフォーマンスパッドを押してから離す

それまでオンになっていたエフェクトがオフになり、リリースFX がオンになります。

BEAT JUMP モード

再生中のトラックのリズムを崩さずに、瞬時に再生位置を移動できます。

1 [SAVED LOOP] ボタンを押す

BEAT JUMP モードに切り替わります。

- ジャンプする拍数または小節数設定（初期設定）は、以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

1 拍 (左方向)	1 拍 (右方向)	2 拍 (左方向)	2 拍 (右方向)
4 拍 (左方向)	4 拍 (右方向)	8 拍 (左方向)	8 拍 (右方向)

- [PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押すと、パフォーマンスパッドに割り当てる拍数または小節数設定を切り替えます。

2 パフォーマンスパッドを押す

パッドに割り当てられた拍数で、再生位置が移動します。

SAMPLER モード

パフォーマンスパッドを使って、サンプラーのサンプラーズロットにロードされたトラックの再生を開始します。

❖ トラックをサンプラーズロットにロードする

1 rekordbox の画面で、[SAMPLER] をクリックする

[SAMPLER] パネルが表示されます。

2 本機の [SAMPLER] ボタンを押す

SAMPLER モードに切り替わります。

- 3 **[PARAMETER 1 ◀]**または**[PARAMETER 1 ▶]**ボタンを押して、サンプラーのバンクを切り替える
- 4 ロータリーセクターを押して、カーソルをトラックリストへ移動する
- 5 ロータリーセクターを回して、サンプラースロットへロードしたいトラックを選択する
- 6 **[SHIFT]**ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押す
選択されたトラックがサンプラースロットにロードされます。
 - rekordboxの**[環境設定]**によっては、すでにロード済みのサンプラースロットへ上書きでロードできない場合があります。

❖ **SAMPLER**を再生する

- 1 **[SAMPLER]**ボタンを押す
SAMPLERモードに切り替わります。
- 2 **[PARAMETER 1 ◀]**または**[PARAMETER 1 ▶]**ボタンを押して、サンプラーのバンクを切り替える
- 3 **[SAMPLER VOLUME]**ノブを回して、サンプラー音声の音量を調節する
- 4 パフォーマンスパッドを押す
パッドに割り当てられているスロットの音声を再生します。

- サンプラスロットは、以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています（1～8はDECK 1またはDECK 3のとき、9～16はDECK 2またはDECK 4のとき）。

スロット 1/9	スロット 2/10	スロット 3/11	スロット 4/12
スロット 5/13	スロット 6/14	スロット 7/15	スロット 8/16

5 サンプラー再生中にパフォーマンスパッドを押す

先頭に戻って再生を続けます。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながらパフォーマンスパッドを押すと、スロット音声の再生を停止します。

KEYBOARD モード

パフォーマンスパッドを使って、キーボード（鍵盤）のようにホットキューに音階をつけることができます。

1 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、**[HOT CUE]** ボタンを押す

KEYBOARD モードに切り替わります。

2 パフォーマンスパッドを押して、**KEYBOARD** モードで使用するホットキューを選択する

- ホットキューが設定されていない場合は、現在の再生位置がホットキューとして設定されます。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[HOT CUE]** ボタンを押すと、KEYBOARD モードで使用するホットキューを選びなおすことができます。
- 音の高さ（初期設定）は、以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

+4 セミトーン	+5 セミトーン	+6 セミトーン	+7 セミトーン
0 セミトーン	+1 セミトーン	+2 セミトーン	+3 セミトーン

- セミトーンは音程を表す単位です。+1 セミトーンは、元の音程から半音高いことを表します。
- [PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押すと、音の高さの範囲を変更できます。

3 パフォーマンスパッドを押す

パッドに割り当てられた音の高さでホットキューを再生します。

PIANO PLAY モード

両デッキのパフォーマンスパッドがピアノ鍵盤のように点灯表示されます。ホットキューに音階をつけて再生することができます。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[ROLL] ボタンを押す

PIANO PLAY モードに切り替わります。

2 パフォーマンスパッドを押して、PIANO PLAY モードで使用するホットキューを選択する

パフォーマンスパッドに設定されているホットキューポイントが選択されます。

3 パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに割り当てられているピッチで、選択したホットキューポイントから再生を開始します。

- 左デッキの [PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押すと、ピッチレンジを変更できます。
- 右デッキの [PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押すと、スケールを表示するパフォーマンスパッドの点灯状態を変更できます。スケールを変更しても各パフォーマンスパッドに割り当てられているピッチは変わりません。
- 各ピッチレンジの音の高さおよびスケール表示は、以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

— アップレンジ : Minor Pentatonic

	+1	+3	
0	+2	+4	+5

+6	+8	+10	
+7	+9	+11	+12

— アップレンジ : Major

	+1	+3	
0	+2	+4	+5

+6	+8	+10	
+7	+9	+11	+12

— アップレンジ : Major Pentatonic

	+1	+3	
0	+2	+4	+5

+6	+8	+10	
+7	+9	+11	+12

— ミドルレンジ : Minor Pentatonic

-6	-4	-2	
-5	-3	-1	0

+1	+3		+6
+2	+4	+5	+7

— ミドルレンジ : Major

-6	-4	-2	
-5	-3	-1	0

+1	+3		+6
+2	+4	+5	+7

— ミドルレンジ : Major Pentatonic

-6	-4	-2		+1	+3		+6
-5	-3	-1	0	+2	+4	+5	+7

— ダウンレンジ : Minor Pentatonic

	-11	-9		-6	-4	-2	
-12	-10	-8	-7	-5	-3	-1	0

— ダウンレンジ : Major

	-11	-9		-6	-4	-2	
-12	-10	-8	-7	-5	-3	-1	0

— ダウンレンジ : Major Pentatonic

	-11	-9		-6	-4	-2	
-12	-10	-8	-7	-5	-3	-1	0

- rekordboxのPIANO PLAY画面で、選択中のホットキュー、オクターブの範囲、スケールの情報を確認できます。



- 各デッキで選択されたHOT CUE
- 選択中のオクターブ範囲
- 選択中のスケール

BEAT LOOP モード

パフォーマンスパッドを押すと、各パッドに割り当てられている拍数でループ再生を開始し、パッドを離してもループ再生を続けます。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[SAVED LOOP] ボタンを押す

BEAT LOOP モードに切り替わります。

2 パフォーマンスパッドを押す

パフォーマンスパッドに設定されてる拍数で、ループ再生を開始します。

- ビートループの拍数設定は、以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています。

1/4 拍	1/2 拍	1 拍	2 拍
4 拍	8 拍	16 拍	32 拍

- もう一度同じパフォーマンスパッドを押すと、ループ再生を解除します。

SAMPLE SCRATCH モード

サンプラースロットにロードされているトラックを、デッキにロードします。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[SAMPLER] ボタンを押す

SAMPLE SCRATCH モードに切り替わります。

2 [PARAMETER 1 ◀] または [PARAMETER 1 ▶] ボタンを押して、サンプラーのバンクを切り替える

3 パフォーマンスパッドを押す

パッドに割り当てられているサンプラースロットの音声が入力されたデッキにロードされます。デッキで、スクラッチなどのパフォーマンスが可能になります。

- サンプラースロットは、以下のようにパフォーマンスパッドに割り当てられています（1～8はDECK 1またはDECK 3のとき、9～16はDECK 2またはDECK 4のとき）。

スロット 1/9	スロット 2/10	スロット 3/11	スロット 4/12
スロット 5/13	スロット 6/14	スロット 7/15	スロット 8/16

- ロード元のサンプラースロットのプレイモードがOneshotの場合、デッキへのロードと同時に再生を開始します。
 - ロード元のサンプラースロットのプレイモードがLoopの場合、ロードの際にデッキのマニュアルループが設定され、デッキへのロードと同時に再生を開始します。
 - ロード元のサンプラースロットがGateモードに設定されている場合、デッキへのロードと同時に、パッドを押している間キューポイントサンプラーとして動作します。
- [SHIFT] ボタンを押しながらもう一度パフォーマンスパッドを押すと、ロードしたトラックをアンロードします。

USER モード 1 ～ 4

rekordbox の MIDI LEARN 機能を使って、8つのパフォーマンスパッドにお好みのDJソフトウェア機能をアサインできます。

- MIDI LEARN 機能については、rekordbox の操作説明書を参照してください（6 ページ）。

DECK PAD

DECK PAD モードボタン



DECK PAD モードボタンの操作方法によって、以下のパッドモードに切り替えます。

操作	[HOT CUE] ボタン	[SCRATCH BANK] ボタン
押す	HOT CUE モード	SAMPLE SCRATCH モード
[SHIFT] ボタン + 押す	BEAT JUMP モード	SAMPLER モード

- パッドボタン（[VOCAL/PAD 1]、[MELODY/PAD 2]、[BASS/PAD 3]、[DRUMS/PAD 4]）を押すと、各パッドモードのパフォーマンスパッド 1 ～ 4 と同じ操作をすることができます。

DUAL DECK モード

DUAL DECK モードは、DECK 1 と DECK 3（または DECK 2 と DECK 4）で2つの異なるトラックをミックスするときに、両方のデッキを同時にコントロールできます。

マッシュアップやブレンドでミックスした2つの異なるトラックを1つのトラックであるかのように、スクラッチ、ループ、ホットキューなどの操作が可能です。

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[DECK] ボタンを押す

DUAL DECK モードに切り替わります。

- DECK 1 と DECK 2 がアクティブデッキになります。アクティブデッキの変更はできません。
- もう一度 [SHIFT] ボタンを押しながら [DECK] ボタンを押すと、DUAL DECK モードがオフになります。
- DUAL DECK モードでは、各ボタンやノブで以下の機能をコントロールできます。

ボタン/ノブ	機能
ジョグ	デッキ再生操作
[TRIM] ノブ	音量調整
[HI, MID, LOW] ノブ	EQ 調整
チャンネルフェーダー	音量調整
クロスフェーダー	音量調整
[FILTER] ノブ	エフェクトの調整
エフェクトレバー	エフェクトの操作
パフォーマンスパッド	各パッドモードの操作
ループ操作ボタン	ループ操作
[SYNC] ボタン	BPM を合わせる
[KEY LOCK] ボタン	キーをロックする

ボタン/ノブ	機能
DECK PAD ボタン	DECK PAD 操作 (ACTIVE PART モード以外)
[SLIP] ボタン	SLIP モード
[CENSOR ] ボタン	スリップリバース
[KEY -]、[KEY +] ボタン	キーの調整
[CUE] ボタン	キューポイント操作
▶/ ボタン	再生 / 一時停止
[ CUE] ボタン	ヘッドホンモニター

AUTO BPM TRANSITION

自動的にBPMを調整し、ミックス操作のアシストをします。

以下の2種類の機能があります。

- もう一方のデッキのトラックと同じBPMする
- オリジナルのBPMに戻す

❖ もう一方のデッキのトラックと同じBPMにする

- 1 [SELECT] ボタンを押しながら、パッドボタン ([VOCAL/PAD 1]、[MELODY/PAD 2]、[BASS/PAD 3]、[DRUMS/PAD 4]) のいずれかを押して、**AUTO BPM TRANSITION** 中に出力するパートを選択する
- 2 [SHIFT] ボタンを押しながら [SELECT] ボタンを押して、移行にかかる時間を小節数で選択する
- 3 [▶] (AUTO BPM TRANSITION START) ボタンを押す

ボタンを押したデッキのトラックのBPMが、設定した小節数分の時間をかけてもう一方のデッキのトラックと同じBPMに変化します。この間、選択したパートの音のみが出力されます。

- AUTO BPM TRANSITION中にもう一度 **[▶]** (AUTO BPM TRANSITION START) ボタンを押すと、AUTO BPM TRANSITIONを終了します。

❖ オリジナルのBPMに戻す

- 1 **[SELECT]** ボタンを押しながら、パッドボタン (**[VOCAL/PAD 1]**、**[MELODY/PAD 2]**、**[BASS/PAD 3]**、**[DRUMS/PAD 4]**) のいずれかを押して、**AUTO BPM TRANSITION** 中に出力するパートを選択する
- 2 **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[SELECT]** ボタンを押して、移行にかかる時間を小節数で選択する
- 3 **[SELECT]** ボタンを押しながら **[▶]** (**AUTO BPM TRANSITION START**) ボタンを押す

ボタンを押したデッキのトラックのBPMが、設定した小節数分の時間をかけてオリジナルのBPMに戻ります。この間、選択したパートの音のみが出力されます。

SLIP

SLIPモードをオンにすると、スクラッチプレイ中、ループ再生中、またはホットキュー再生中に、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。スクラッチプレイ、ループ再生、またはホットキューの再生を解除すると、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。

SLIP SCRATCH PLAY

1 [SHIFT] ボタンを押しながら、[KEY LOCK] ボタンを押す

VINYLモードがオンになります。

- [SHIFT] ボタンを押しているあいだ、[KEY LOCK] ボタンが点灯することを確認します。

2 [SLIP] ボタンを押す

SLIPモードがオンになり、[SLIP] ボタンが点灯します。

3 再生中に、ジョグダイヤルの天面を操作してスクラッチする

スクラッチ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

- バックグラウンドで再生を続けている間は、[SLIP] ボタンが点滅します。
 - ジョグの天面から手を離すと、バックグラウンドで経過した位置から通常の再生を開始します。
- もう一度[SLIP] ボタンを押すと、SLIPモードがオフになります。

SLIP HOT CUE

1 [HOT CUE] ボタンを押す

HOT CUE モードに切り替わります。

2 再生中または一時停止中に、ホットキューポイントを設定したい位置でいずれかのパフォーマンスパッドを押す

ホットキューポイントが設定されます。

3 [SLIP] ボタンを押す

SLIP モードがオンになり、[SLIP] ボタンが点灯します。

4 再生中にパフォーマンスパッドを押し続ける

ホットキューポイントから再生を開始します。パフォーマンスパッドを押している間、再生を続けます。ホットキューの再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

- バックグラウンドで再生を続けている間は、[SLIP] ボタンが点滅します。
 - パフォーマンスパッドを離すと、バックグラウンドで経過した位置から通常の再生を開始します。
- もう一度[SLIP] ボタンを押すと、SLIP モードがオフになります。

SLIP BRAKING

- 1 rekordbox画面で、[環境設定] → [コントローラー] → [デッキ] タブをクリックする
- 2 [バイナルスピードアジャスト] の [タッチ/ブレーキ] で、トラックの再生状態から停止するまでの速度などを調整する

- スリップブレーキングを使うときは、ゆっくりと停止する設定にします。

- 3 [SLIP] ボタンを押す

SLIPモードがオンになり、[SLIP] ボタンが点灯します。

- 4 再生中に [▶/■] ボタンを押す

ゆっくりと再生が止まります。

ゆっくりと停止している間もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

- バックグラウンドで再生を続けている間は、[SLIP] ボタンが点滅します。
 - もう一度 [▶/■] ボタンを押すと、バックグラウンドで経過した位置から通常の再生を開始します。
- もう一度 [SLIP] ボタンを押すと、SLIPモードがオフになります。

SLIP AUTO BEAT LOOP

- 1 [SLIP] ボタンを押す

SLIPモードがオンになり、[SLIP] ボタンが点灯します。

- 2 ループを設定する

ループ再生を開始します。

ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

- バックグラウンドで再生を続けている間は、[SLIP] ボタンが点滅します。

- **[AUTO LOOP]** ボタンを押すとループ再生が解除され、バックグラウンドで経過した位置から通常の再生を開始します。

☐ 「ループを自動設定する」 (85 ページ)、 「ループを手動設定する」 (85 ページ)

- もう一度**[SLIP]** ボタンを押すと、SLIP モードがオフになります。

フェーダースタート

フェーダーノブの操作で、再生を開始できます。

チャンネルフェーダースタートを使う

- 1 設定ユーティリティの**[フェーダースタートの動作オプション]**で**[CUE]**を選択する

☐ 「各種設定を変更する」 (33 ページ)

- 2 再生を開始したい位置で一時停止する

- 3 対応するデッキの**[CUE]** ボタンを押す

キューが設定されます。

- 4 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、チャンネルフェーダーを一番手前の位置から奥側に動かす

キューポイントからトラックの再生を開始します。

- 再生中に**[SHIFT]** ボタンを押しながらチャンネルフェーダーを一番手前の位置に戻すと、キューポイントに瞬時に戻り、一時停止します (バックキュー)。
- 手順3でキューが設定されていないときは、現在の位置から再生を開始します。

クロスフェーダースタートを使う

1 再生を開始したい位置で一時停止する

2 対応するデッキの[CUE]ボタンを押す

キューが設定されます。

3 クロスフェーダーを左端または右端の位置に合わせる

- フェーダースタートさせるチャンネルとは反対側の端に合わせます。

4 [SHIFT]ボタンを押しながら、クロスフェーダーを左端または右端から逆側に動かす

キューポイントからトラックの再生を開始します。

- 再生中に[SHIFT]ボタンを押しながらクロスフェーダーを元の位置に戻すと、キューポイントに瞬時に戻り、一時停止します（バックキュー）。
- 手順2でキューが設定されていないときは、現在の位置から再生を開始します。

BEAT FX

BEAT FX はデッキにロードしたトラックのテンポ(BPM)に合わせてエフェクトをかけることができます。

1 使用したいエフェクトがアサインされている[FX SELECT]ボタンを押す

- 複数の[FX SELECT]ボタンを同時に押すと、複数のエフェクトを選択できます。
- [FX SELECT]ボタンを押しながらロータリーセクターを回すと、エフェクトの種類を選択できます。

2 [BEAT ◀]または[BEAT ▶]ボタンを押して、エフェクトを同期させる拍数を設定する

- [SHIFT]ボタンを押しながら[BEAT ▶]ボタンを押すと、自動でBPMを取得します(AUTO BPM)。
- [SHIFT]ボタンを押しながら[BEAT ◀]ボタンを押すと、BPMタップモード（エフェクトの基準となるBPMを、ボタンをタップした間隔から算出）にします。

3 [LEVEL/DEPTH]ノブを回して、エフェクトを調整する

- 左に回しきると、原音が出力されます。

4 エフェクトレバーを[ON]または[LOCK ON]に合わせる

エフェクトレバーを操作したチャンネルの音声に、選択したエフェクトを加えます。

録音

rekordboxの録音機能を使って、ミックスした音声を録音できます。

- 録音機能の詳細については、rekordboxの「操作説明書」を参照してください（6 ページ）。

1 rekordbox画面でをクリックする

[REC]パネルが表示されます。

2 [REC]パネルでをクリックする

録音を開始します。

- もう一度をクリックすると、録音を停止します。
- 録音が完了すると、自動的にファイルが保存されます。
- 録音ファイルの保存先は、rekordboxの[環境設定] → [コントローラー] → [録音] タブから変更できます。

rekordbox で設定を変更する

rekordbox と本機を接続しているときは、rekordbox の[環境設定]の[コントローラー]でDJプレイに関する以下の設定を変更できます。

❖ デッキタブ

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
	AUTO LOOP ボタンを押したときの動作を設定します。
AUTO BEAT LOOP	設定値：指定したループ拍数、1ビートループ、2ビートループ、4ビートループ、8ビートループ、16ビートループ、32ビートループ
	SLIP モードフラッシングを設定します。
Slip モードフラッシング	- 設定値：有効*、無効 [有効]に設定すると、SLIP モードをオンにしたときにスリップ動作に関連するボタン（[HOT CUE] ボタンなど）が点滅します。
	SLIP モードがオンのときの [SLIP] ボタンの点灯動作を設定します。
Slip モード On 時の Slip ボタン点灯設定	- 設定値：点灯*、点滅 [点灯]：SLIP モードがオンのとき [SLIP] ボタンが点灯し、スリップ動作時に点滅します。 [点滅]：SLIP モードがオンのとき、[SLIP] ボタンが常に点滅します。
	PIANO PLAY モード専用画面を表示するかを設定します。
パネル表示	- 設定値：常に表示、PIANO PLAY モード時のみ*、非表示 [常に表示]：本機を接続しているときは、常に表示します。 [PIANO PLAY モード時のみ]：PIANO PLAY モードのときのみ表示します。

❖ ミキサータブ

設定項目	説明
Booth 出力	ブース出力にマイク音声を出力するかどうかを設定します。 • [Booth出力にMic音声を出力しない]のチェックを外すと、ブース出力にマイク音声を出力します。チェックを入れるとブース出力にマイク音声を出力しません。
MIC 入力	
Talkover レベル	マイクトークオーバーのレベルを設定します。 • 設定値：-6dB、-12dB、-18dB、-24dB
Low Cut Filter	マイクのローカットフィルターを設定します。 • 設定値：OFF、ON
Headphones	PHONES の出力音声（ステレオ / MONO SPLIT）を設定します。 • 設定値：STEREO、MONO SPLIT • [MONO SPLIT]は、左チャンネルからマスター音声以外のモニター音声を、右チャンネルからマスター音声のモニター音声を出力します。 • [MONO SPLIT]設定時に[ヘッドホン音声のLRを反転する]にチェックを入れると左右のチャンネルの音声が反転して出力されます。

❖ DDJ-REV5 タブ

設定項目	説明
Master 出力	
アッテネーターレベル	[MASTER 1]、[MASTER 2] 出力端子から出力する音声の減衰レベルを設定します。 設定値：0dB、-6dB、-12dB
モノラル / ステレオ切替え	[MASTER 1]、[MASTER 2] 出力端子から出力する音声の出力方法（モノラル / ステレオ）を設定します。 設定値：モノラル、ステレオ
Booth 出力	
アッテネーターレベル	[BOOTH] 出力 端子から出力する音声の減衰レベルを設定します。 設定値：0dB、-6dB、-12dB
モノラル / ステレオ切替え	[BOOTH] 出力端子から出力する音声の出力方法（モノラル / ステレオ）を設定します。 設定値：モノラル、ステレオ
ピークリミッター	
Master 出力	[MASTER 1]、[MASTER 2] 出力端子から出力する音声の歪みを緩和するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効
Mic 出力 (Master)	マスター出力音声に入力するマイク音声の歪みを緩和するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効
Mic 出力 (Booth)	[BOOTH] 出力端子から出力する音声に入力するマイク音声の歪みを緩和するかどうかを設定します。 設定値：有効、無効

設定項目	説明
デモ	デモモード開始までの時間（本機を操作しなかった時間）を設定します。 - 設定値：デモ（1分）、デモ（5分）、デモ（10分）*、無効 - デモモード中、本機のいずれかのノブやボタンを操作すると、デモモードが解除されます。 [無効]に設定すると、デモモードは開始されません。
パワーマネジメント	パワーマネジメント機能を設定します。 - 設定値：有効、無効 [有効]に設定しているときに、音声信号（-24 dB 以上）が入力されていない状態で本機を操作せずに20分経過すると、自動的にオフモードになります。 - 左デッキの[SLIP]ボタンを押すと、オフモードが解除されます。 - パワーマネジメント機能を[OFF]にしたときは、消費電力が増加することがあります。

音声出力

以下の操作を行って、音声を出します。

🔊 **[BOOTH]** 出力端子から音声を出する方法については、「ブースモニターを使う」(116 ページ) を参照してください。

音声を出する

チャンネル入力音量を調整する

- 1 入力切替えスイッチで入力音声を選択する
- 2 **[TRIM]** ノブを回して、入力音声の音量を調整する

音声が入力されると、チャンネルレベルインジケーターが点灯します。

チャンネル出力音量を調整する

- 1 チャンネルフェーダーを動かして、出力音声の音量を調整する
- 2 クロスフェーダーを動かして、出力音声を調整する

マスター音量を調整する

1 [MASTER LEVEL] ノブを回して、マスター音声の音量を調整する

マスター音声が出力されると、マスターレベルインジケーターが点灯します。

- PC/Macのスピーカーから音声を出力する場合は、PC/Macのスピーカーの音量を調節してください。

チャンネル音声の音質を調整する

1 [HI、MID、LOW] ノブを回して、各音域の音質を調整する

- STEMS LEVEL/PART ISOモードのときは、STEM/パートの出力レベルを調整します。

クロスフェーダーカーブを設定する

1 [CURVE] ノブを回して、クロスフェーダーカーブを設定する

- [REVERSE] スイッチを[ON]に設定すると、クロスフェーダーの操作方向が逆になります。

音声モニター

ヘッドホンで音声をモニターする

1 PHONES 出力端子にヘッドホンを接続する

☛ 「HEADPHONES セクション」 (26 ページ)

2 [MIX] ノブを回して、チャンネルとマスター音声の音量バランスを調整する

3 [🎧 CUE (CH 1, CH 2)] ボタンを押して、音声を選択する

4 [LEVEL] ノブを回して、音量を調整する

ブースモニターを使う

1 [BOOTH] 出力端子にブースモニター用の機器を接続する

☛ 「本体リア部」 (27 ページ)

2 [BOOTH LEVEL] ノブを回して、出力音声の音量を調整する

マイク

マイクを使う

1 [MIC 1] または [MIC 2] 入力端子にマイクを接続する

- お使いのマイクによって入力音声の増幅量（ゲイン）は異なります。DJ プレイ開始前に本体リア部の[ATT.]ノブで、お使いのマイクに合わせて音声レベルを調整してください。

☞ 「入力端子に接続する」（36 ページ）

2 [OFF, ON, TALKOVER] 切替えスイッチで、マイク音声の出力を設定する

3 MIC セクションの [LEVEL 1] または [LEVEL 2] ノブを回して、マイク音声の音量を調整する

- 右に回しすぎると、大音量で出力されます。ご注意ください。

4 [EQ (HI, LOW)] ノブを回して、各音域の音質を調整する

5 マイクに音声を入力する

AUX

AUX を使う

1 [AUX] 入力端子に外部機器を接続する

☛ 「本体リア部」(27 ページ)、「入力端子に接続する」(36 ページ)

2 [AUX (OFF, LINE, PORTABLE)] スイッチで、使用する外部機器を選択する

3 [LEVEL] ノブを回して、入力音量を調整する

本機の設定

本機の設定を変更する

ユーティリティーモードを起動して、本機の設定を変更します。

- rekordboxが起動しているPC/Macと接続しているときは、ユーティリティーモードは使用できません。rekordboxを接続しているときは、rekordboxの設定画面で変更してください（110 ページ）。

1 [BACK] ボタンを長押しする

ユーティリティーモードが起動します。

2 ロータリーセクターを回して、設定項目を選択する

3 ロータリーセクターを押して、設定項目を決定する

レベルインジケーターに設定項目、設定値が表示されます。

4 ロータリーセクターを回して、設定値を選択する

5 ロータリーセクターを押して、設定値を決定する

設定値が決定され上位階層に戻ります。

- [BACK] ボタンを押すと、設定の変更はキャンセルされます。

6 [BACK] ボタンを押す

ユーティリティーモードが終了します。

- 設定値変更中に[BACK] ボタンを押すと、設定項目選択状態に戻ります。
- 設定項目選択中に[BACK] ボタンを押すと、ユーティリティーモードが終了します。

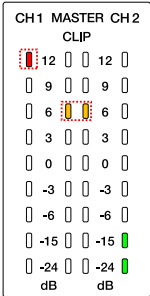
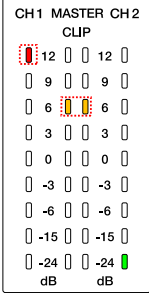
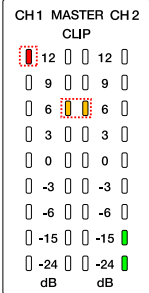
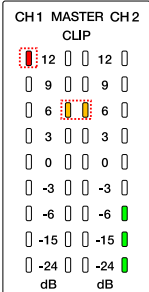
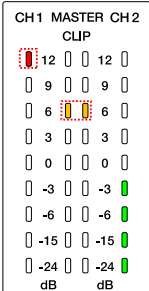
UTILITY 設定項目

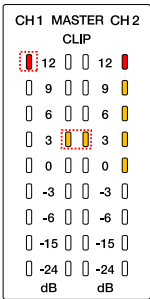
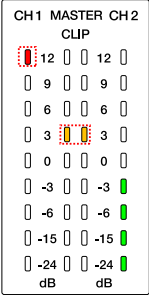
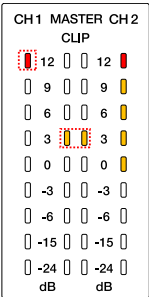
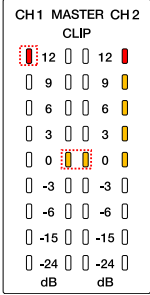
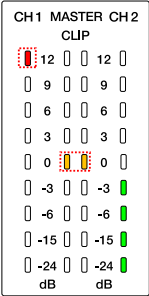
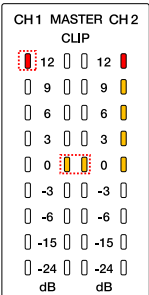
*：お買い上げ時の設定

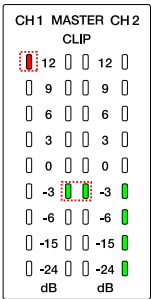
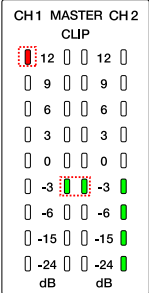
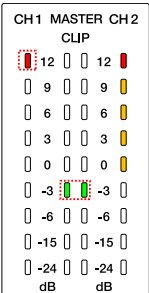
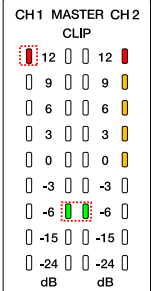
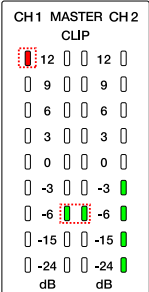
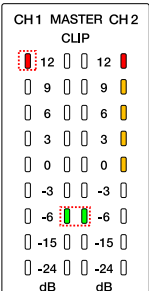
点滅：点滅

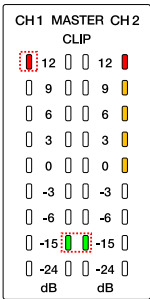
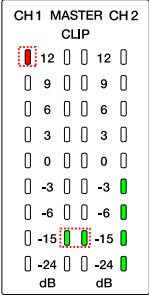
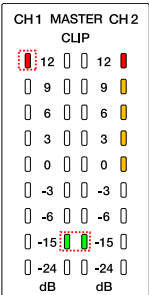
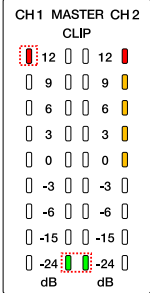
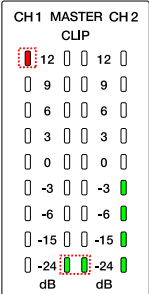
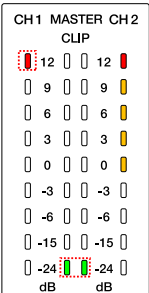
設定項目	表示するレベル インジケーター	設定値	表示するレベル インジケーター	説明
POWER MANAGEMENT	CH1 MASTER CH2 CLIP 12 12 9 9 6 6 3 3 0 0 -3 -3 -6 -6 -15 -15 -24 -24 dB dB	OFF	CH1 MASTER CH2 CLIP 12 12 9 9 6 6 3 3 0 0 -3 -3 -6 -6 -15 -15 -24 -24 dB dB	パワーマネジメント機能を設定します。 [ON] に設定しているときに、音声信号（-24 dB 以上）が入力されていない状態で本機を操作せずに 20 分経過すると、自動的にオフモードになります。 パワーマネジメント機能を [OFF] にしたときは、消費電力が増加することがあります。
		ON*	CH1 MASTER CH2 CLIP 12 12 9 9 6 6 3 3 0 0 -3 -3 -6 -6 -15 -15 -24 -24 dB dB	

設定項目	表示するレベル インジケータ	設定値	表示するレベル インジケータ	説明
DEMO	CH1 MASTER CH2 CLIP 12 0 0 12 9 9 9 6 6 6 3 3 3 0 0 0 -3 0 0 -3 -6 0 0 -6 -15 0 0 -15 -24 0 0 -24 dB dB	OFF	CH1 MASTER CH2 CLIP 12 0 0 12 9 9 9 6 6 6 3 3 3 0 0 0 -3 0 0 -3 -6 0 0 -6 -15 0 0 -15 -24 0 0 -24 dB dB	デモモード開始までの時間を設定します。
		1min	CH1 MASTER CH2 CLIP 12 0 0 12 9 9 9 6 6 6 3 3 3 0 0 0 -3 0 0 -3 -6 0 0 -6 -15 0 0 -15 -24 0 0 -24 dB dB	
		5min	CH1 MASTER CH2 CLIP 12 0 0 12 9 9 9 6 6 6 3 3 3 0 0 0 -3 0 0 -3 -6 0 0 -6 -15 0 0 -15 -24 0 0 -24 dB dB	
		10min*	CH1 MASTER CH2 CLIP 12 0 0 12 9 9 9 6 6 6 3 3 3 0 0 0 -3 0 0 -3 -6 0 0 -6 -15 0 0 -15 -24 0 0 -24 dB dB	

設定項目	表示するレベル インジケーター	設定値	表示するレベル インジケーター	説明
MIC TALKOVER LEVEL		-24dB		マイクトークオーバーのレベルを設定します。
		-18dB*		
		-12dB		
		-6dB		

設定項目	表示するレベルインジケータ	設定値	表示するレベルインジケータ	説明
MIC LOW CUT		OFF		マイクのローカットフィルターを設定します。
		ON*		
PHONES OUT		MONO SPLIT		ヘッドホンから出力されるモニター音声の出力方法 (MONO SPLIT/ ステレオ) を設定します。
		STEREO*		

設定項目	表示するレベルインジケータ	設定値	表示するレベルインジケータ	説明
SPLIT CUE OUTPUT		NORMAL*		[PHONES OUT] が [MONO SPLIT] に設定されているときに、ヘッドフォンの L/R を反転するかどうかを設定します。
		INVERT		
MIC TO BOOTH		OFF		ブース出力音声にマイク音声をミックスするかどうかを設定します。
		ON*		

設定項目	表示するレベルインジケータ	設定値	表示するレベルインジケータ	説明
MIC LMT (MASTER)		OFF		マスター出力音声に入力するマイク音声のリミッターを使用するかどうかを設定します。
		ON*		
MIC LMT (BOOTH)		OFF		ブース出力音声に入力するマイク音声のリミッターを使用するかどうかを設定します。
		ON*		

設定項目	表示するレベルインジケータ	設定値	表示するレベルインジケータ	説明
MASTER OUT	CH1 MASTER CH2 CLIP 12 12 9 9 6 6 3 3 0 0 -3 -3 -6 -6 -15 -15 -24 -24 dB dB	MONO	CH1 MASTER CH2 CLIP 12 12 9 9 6 6 3 3 0 0 -3 -3 -6 -6 -15 -15 -24 -24 dB dB	マスター出力音声の出力方法（モノラル / ステレオ）を設定します。
		STEREO*	CH1 MASTER CH2 CLIP 12 12 9 9 6 6 3 3 0 0 -3 -3 -6 -6 -15 -15 -24 -24 dB dB	

設定項目	表示するレベル インジケータ	設定値	表示するレベル インジケータ	説明
MASTER ATT.		-12dB		マスター出力音声の減衰レベルを設定します。
		-6dB		
		0dB*		

設定項目	表示するレベルインジケータ	設定値	表示するレベルインジケータ	説明
MASTER LIMITER		OFF		マスター出力の急激で不快なデジタルクリップの発生を緩和します。
		ON*		
BOOTH OUT		MONO		ブース出力音声の出力方法（モノラル / ステレオ）を設定します。
		STEREO*		

設定項目	表示するレベル インジケーター	設定値	表示するレベル インジケーター	説明
BOOTH ATT.		-12dB		ブース出力音声の減衰レベルを設定します。
		-6dB		
		0dB*		

設定項目	表示するレベル インジケーター	設定値	表示するレベル インジケーター	説明
MIDI MODE		AUTO*		本機の MIDI モードを設定します。
		GENERAL		
FACTORY RESET		CANCEL*		すべての設定を初期値に戻します。
		RESET		

その他のDJソフトウェアのコントローラーとして使用する

MIDI 対応のソフトウェアをインストールしたPC/MacをUSB ケーブルを使って接続すると、本機から Serato DJ Pro、rekordbox以外のDJソフトウェアを操作できます。

- 本機でPC (Windows) 上のトラックを再生するには、お使いのPC (Windows) にあらかじめ指定のオーディオドライバーソフトウェアをインストールしてください (29 ページ)。
- 本機のMIDI メッセージについては、下記のサイトを参照してください。

pioneerdj.com/support/

- お使いのPC/Mac に、あらかじめDJソフトウェアをインストールし、オーディオおよびMIDI の設定を行ってください。
- ボタンによっては、DJソフトウェアの操作に使用できないことがあります。

スペック

仕様

AC アダプター

電源	AC 100～240 V、50 Hz/60 Hz
定格電流	1.2 A
定格出力	DC 5 V、3.0 A/DC 9 V、3.0 A/DC 12 V、 3.0 A/DC 15 V、3.0 A/DC 20 V、2.25 A

本体一般

消費電流	DC 5 V、3.0 A
消費電力（オフモード）	0.3 W
本体質量	6.2 kg
最大外形寸法	(W × D × H) 736 × 377.2 × 73.4 mm
許容動作温度	+ 5 °C～+ 35 °C
許容動作湿度	5 % ～ 85 %（結露のないこと）

オーディオ部

サンプリングレート	48 kHz
A/D、D/A コンバーター	24bit

周波数特性

USB、AUX (LINE/PORTABLE)、MIC 1、MIC 2	20 Hz～20 kHz
-------------------------------------	--------------

S/N 比（定格出力時、A-WEIGHTED）

USB	110 dB
AUX (LINE)	95 dB
AUX (PORTABLE)	89 dB
MIC 1	81 dB
MIC 2	81 dB

全高調波歪率（20 Hz～20 kHzBW）

USB	0.003 %
-----	---------

基準入力レベル/入力インピーダンス

AUX (LINE)	-12 dBu/47 kΩ
AUX (PORTABLE)	-24 dBu/47 kΩ
MIC 1	-57 dBu/3 kΩ
MIC 2	-57 dBu/3 kΩ

基準出力レベル/負荷インピーダンス/出力インピーダンス

MASTER 1	+6 dBu/10 kΩ/450 Ω以下
----------	----------------------

MASTER 2	+2 dBu/10 kΩ/820 Ω以下
BOOTH	+6 dBu/10 kΩ/900 Ω以下
PHONES	+8 dBu/32 Ω/10 Ω以下
定格出力レベル/負荷インピーダンス	
MASTER 1	+24 dBu/10 kΩ
MASTER 2	+20 dBu/10 kΩ
BOOTH	+24 dBu/10 kΩ
マイクイコライザー特性	
HI.....	-12 dB ~ + 12 dB (10 kHz)
LOW	-12 dB ~ + 12 dB (100 Hz)

入力/出力端子

MIC 入力端子

XLR コネクター & 1/4" TRS ジャック	1 系統
1/4" TRS ジャック	1 系統

AUX 入力端子

RCA ピンジャック	1 系統
------------------	------

MASTER 1 出力端子

XLR コネクター	1 系統
-----------------	------

MASTER 2 出力端子

RCA ピンジャック	1 系統
------------------	------

BOOTH 出力端子

1/4" TRS ジャック	1 系統
---------------------	------

PHONES 出力端子

1/4" ステレオジャック	1 系統
3.5 mm ステレオミニジャック	1 系統

USB 端子

USB type-C	2 系統
------------------	------

- **[MASTER 1]**出力端子は、必ずバランス出力として使用してください。XLR-RCA変換ケーブル（変換アダプター）などを使ってアンバランス入力（RCAなど）へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。
- アンバランス入力（RCAなど）の接続には、**[MASTER 2]**出力端子を使用してください。
- **[BOOTH]**出力端子は、必ずバランス出力として使用してください。TRS-RCA 変換ケーブル（変換アダプター）、TS ケーブルなどを使ってアンバランス入力（RCA、TS 端子など）へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目および、Pioneer DJ サポートページから [DDJ-REV5] の [よくある質問 (FAQ)] を確認してください。

pioneerdj.com/support/

- 本機と接続している機器も確認してください。
- 電源を入れなおすと正常に動作することがあります（静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源を入れなおすことで正常に動作することがあります）。

それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

電源

❖ 本機の電源が入らない

- 「接続」（36 ページ）を参照してください。
- 本体リア部の  ボタンを押して、電源をオンにしてください。

接続

❖ 本機が認識されない

- 付属のUSB ケーブルを正しく接続してください（36 ページ）。
- USB ハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカーが推奨する製品を使用してください。
- PC/Macに本機以外のUSB機器が接続されている場合は、外してください。
- PC (Windows) をお使いの場合は、ドライバーソフトウェアを正しく設定してください（29 ページ）。
- ほかのアプリケーションが動作している場合は、すべてのアプリケーションを終了してください（スクリーンセーバーや常駐ソフトも含む）。ウイルスセキュリティソフトなどを終了する場合は、PC/Macの安全を確保するため、インターネットの接続を切断してください。

- PC (Windows) をお使いの場合は、本機用以外の不要な ASIO ドライバーをアンインストールしてください。
- お使いの PC/Mac で本機が認識されているか、設定ユーティリティで本機のファームウェアバージョンが表示されるかを確認してください（35 ページ）。

音声出力

❖ 音がでない、音が小さい、音がひずむ

- [TRIM] ノブ、[MASTER LEVEL] ノブ、入力切替えスイッチを正しく設定してください。
- 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください（27 ページ）。
- 端子やプラグの汚れを確認し、汚れを拭き取ってから接続してください。
- Mac をお使いの場合は、DJ ソフトウェアのバッファースイズ（レイテンシー）を最適に設定してください。
- Windows をお使いの場合は、設定ユーティリティでバッファースイズを最適に設定してください（32 ページ）。

❖ マイクの音声が出ない

- [OFF, ON, TALKOVER] 切替えスイッチを正しく設定してください。
- [ATT.] ノブおよび [MIC LEVEL] ノブを正しく設定してください。

❖ サンプラーデッキの音声が出ない

- [SAMPLER VOLUME] ノブを適切に設定してください。

Serato DJ Pro

❖ Serato DJ Pro の動作が不安定

- Serato DJ Pro のバージョンを最新にしてください。
- Serato DJ Pro 以外のソフトウェアを終了してください。それでも不安定な状態が続く場合は、無線接続、ウイルスセキュリティソフト、スクリーンセーバー、省電力モードなどを無効にしてみてください。
ウイルスセキュリティソフトなどを終了する場合は、PC/Mac の安全を確保するため、インターネット接続を切断してください。
- PC/Mac に本機以外の USB 機器が接続されている場合は、外してください。
- ラップトップをバッテリーで駆動している場合は、AC アダプターで電源供給してください。

❖ ライブラリにトラックが表示されない

- ライブラリにトラックがない場合は、音楽ファイルをインポートしてください。インポート方法の詳細については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。
- トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいる場合は、トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。

❖ ライブラリに iTunes の曲が表示されない

- [SETUP] メニューの [Library + Display] タブの中の [Show iTunes Library] にチェックが入っていない場合は、チェックを入れてください。すでにチェックが入っている場合は一旦チェックを外してから再度チェックを入れてください。インポート方法の詳細については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。
- トラックが入っていない crate または subcrate を選んでいる場合は、トラックが入っている crate または subcrate を選ぶか、crate または subcrate にトラックを追加してください。

❖ ライブラリの音楽ファイルを編集できない（曲名の修正など）

- [SETUP] メニューの [Library + Display] タブの中の [Protect Library] が有効になっている場合は、無効にしてください。

❖ Serato DJ Pro のバーチャルデッキが表示されない（オフラインプレーヤーが表示される）

- 付属のUSBケーブルを正しく接続してください（36 ページ）。
- Serato DJ Proのバージョンを最新にしてください。

❖ フェーダースタート機能が動作しない

- キューを設定してください。
- 設定ユーティリティでフェーダースタート機能を有効にしてください（33 ページ）。

❖ BPM が表示されない、SYNC/オートループが動作しない

- オフラインプレーヤーの設定で [Analysis Settings] と [Set Beat Grid/BPM] にチェックを入れてから、曲を解析してください。曲の解析方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。

❖ BPM やビートグリッドが正しく表示されていない、ビートグリッドがずれている

- BPM 解析範囲を変更してから、もう一度曲を解析してください。それでも解決しない場合は、手動でビートグリッドやBPM を設定してください。

- ビートグリッドを調整してください。ビートグリッドの調整方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。

❖ Serato DJ Pro を使っているときに、再生中の音声のとぎれる

- Macをお使いの場合は、Serato DJ Proのバッファサイズ（レイテンシー）の値を適切に設定してください。
- PC（Windows）の場合は、設定ユーティリティでバッファサイズの値を適切に設定してください（32 ページ）。

❖ BPM は表示されるがビートグリッドが表示されない、スライサー ループが動作しない、JOG SKIP が動作しない

- オフラインプレーヤーの設定で[Analysis Settings] と [Set Beat Grid/BPM] にチェックを入れてから、曲を解析してください。曲の解析方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。
- ビートグリッドを設定してください。ビートグリッドの設定方法については、Serato DJ Proのソフトウェアマニュアルを参照してください（6 ページ）。

rekordbox

❖ rekordbox の動作が不安定になる

- rekordboxのバージョンを最新にしてください（77 ページ）。
- ほかのアプリケーションが動作している場合は、すべてのアプリケーションを終了してください（スクリーンセーバーや常駐ソフトも含む）。ウイルスセキュリティソフトなどを終了する場合は、PC/Macの安全を確保するため、インターネットの接続を切断してください。
- PC/Mac に本機以外のUSB 機器が接続されている場合は、外してください。
- USBハブを使用する場合は、お使いのPC/Macのメーカーが推奨する製品を使用してください。
- ノートパソコンをバッテリーで駆動している場合は、ACアダプターから電源供給してください。

❖ 本機からコントロールできない、デッキにプッターが表示されない、マニュアルに記載されている環境設定の項目がない

- [EXPORT] モードになっている場合は、rekordbox 画面左上の [EXPORT] をクリックし、[PERFORMANCE] モードをクリックしてPERFORMANCEモードに切り替えてください。

❖ **BPMやビートグリッドが正しく表示されない、ビートグリッドがずれている**

- BPM解析範囲を変更してから、もう一度曲を解析してください。それでも解決しない場合は手動でビートグリッドやBPMを設定してください。
- ビートグリッドを調整してください。ビートグリッドの調整方法の詳細については、rekordboxの「操作説明書」を参照してください（6 ページ）。

❖ **rekordbox を使っているとき再生中の音声かとぎれる**

- rekordboxの[環境設定]→[オーディオ]で、バッファサイズの値を適切に設定してください。

❖ **フェーダースタート機能が動作しない**

- キューを設定してください。

❖ **本機を接続していないと録音機能が使えなくなる**

- サブスクリプションプランを契約していない場合は、本機を接続していないときは録音機能を使用できません。本機またはほかのHardware Unlock 対象機器を接続するか、サブスクリプションプランを契約してください。

その他

❖ **インジケーターが点滅し、動作がおかしい**

- 動作がおかしい、または起動しない場合は、DCジャックからACアダプターのケーブルを抜いて、しばらく経ってから接続し直してください。それでも症状が発生する場合は、修理を依頼してください。

商標および登録商標について

- Pioneer DJ は、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Serato DJ Pro は Serato Limited 社の登録商標です。
- rekordbox™ は、AlphaTheta 株式会社の商標または登録商標です。
- Mac、macOS および Finder は、米国および他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標または登録商標です。

その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアのライセンス

Apache

Copyright (c) 2009-2019 ARM Limited. All rights reserved.

SPDX-License-Identifier: Apache-2.0

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the License); you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at

www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an AS IS BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

BSD

The Clear BSD License

Copyright (c) 2016, Freescale Semiconductor, Inc.

Copyright 2016-2017 NXP

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted (subject to the limitations in the disclaimer below) provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

NO EXPRESS OR IMPLIED LICENSES TO ANY PARTY'S PATENT RIGHTS ARE GRANTED BY THIS LICENSE. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

著作権

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2023 AlphaTheta 株式会社 禁無断転載

<DRJ1097-B>